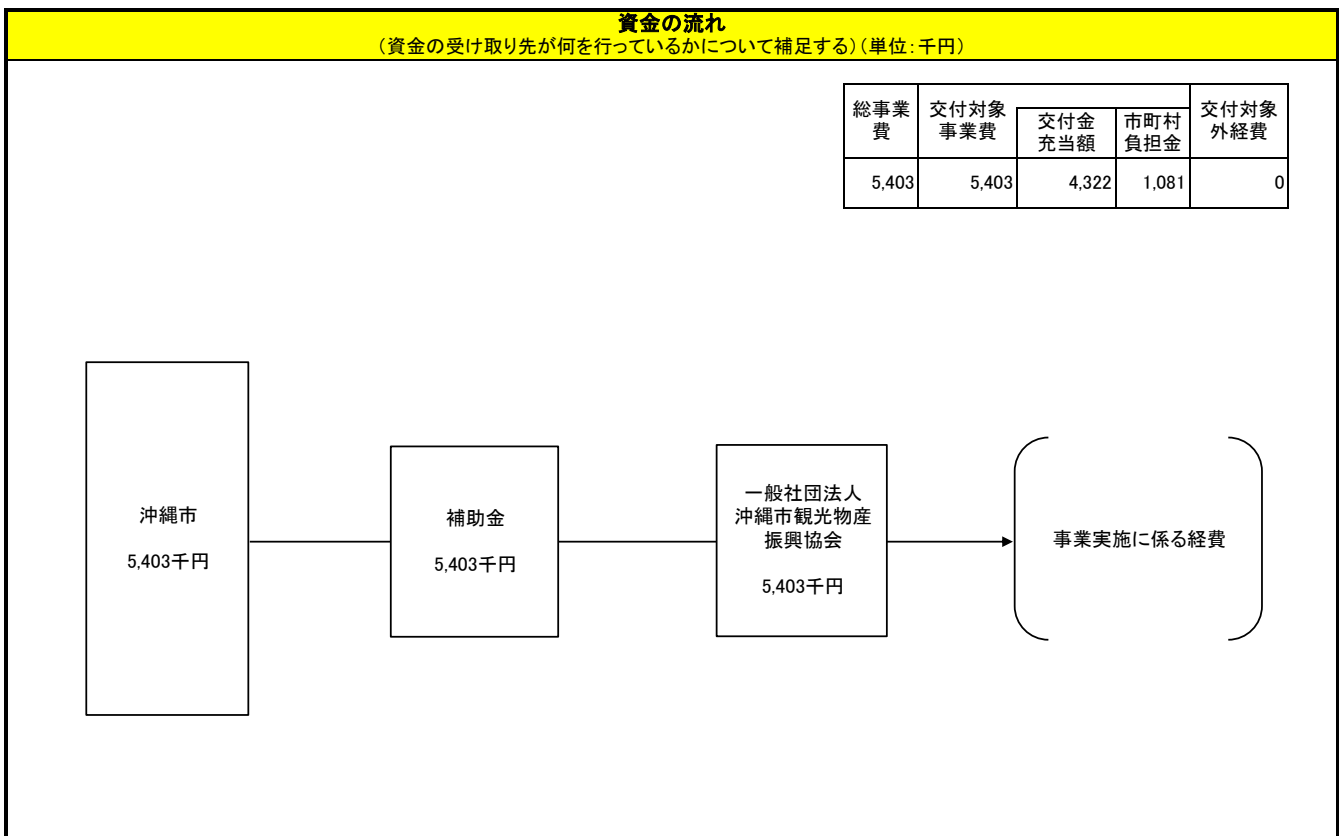


市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	Kozaフィルムオフィス事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
	担当部署名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	伝統文化や景観などの本市の魅力ある地域資源を広く内外へ発信するため、映画・ドラマ等の撮影誘客及び撮影支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	4,495	5,428	5,821	5,560	5,480
	(b)予算現額	5,296	5,428	5,821	5,560	5,480	
	(c)増減額(b-a)	801	0	0	0	0	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	5,296	5,428	5,821	5,560	5,480	
	B.執行済額	5,296	5,415	5,208	5,073	5,403	
	うち交付金充当額	4,236	4,332	4,166	4,057	4,322	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.8%	89.5%	91.2%	98.6%	
予算の状況の説明	当初予算額のうち、11か月分を沖縄振興特別推進交付金の活用により事業を実施しており、1か月分は市単独予算により実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	誘致活動	目標	(3回)	(3回)	(3回)	(3回)	
		実績	1回	1回	1回	2回	
	撮影支援	目標	(撮影実施)	(撮影実施)	(撮影実施)	(撮影実施)	
		実績	12か月	12か月	12か月	12か月	
達成状況説明	全国の映像制作者が集まるJFC全国ロケ地フェアにおいて誘致活動を実施。撮影支援は12か月にわたり実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	撮影件数	目標	()	(111件)	(81件)	(50件)	()
		実績		42件	45件	66件	
	【参考指標】 映画・ドラマ等撮影支援件数	目標	()	()	()	()	()
		実績		61件	80件	115件	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、撮影件数、対応件数とも過去最高の件数の支援を行った。 沖縄市での撮影について、地域性や地域の人々の個性豊かで映像制作者からは評判がよく、また、撮影に関しても理解があり協力してくれる店舗や施設も多くなってきた。 					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の撮影件数は66件となっており、成果目標を大きく上回る結果となった。 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、年度内にクラウンを予定していた映画の撮影が延期になるなどの影響はあったものの、長引くコロナ禍で感染対策をとったロケの受け入れに順応し、年間を通して例年以上の撮影を受け入れることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインおよびチェックリストによる対策を引き続き講じる必要がある。 撮影された映画等のロケ地について、注目度の高い出演者情報や話題性に着目し、SNSを通じて効果的な情報発信を行うことで観光誘客の増加につなげる。また、撮影前や撮影期間中の情報発信(※作品によっては非公開もある)により、関心を寄せていただくことで地域への集客やエキストラ登録などの増加につなげる。 復帰50周年などの歴史的節目などを見据えた取り組みが必要である。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインおよびチェックリストを活用した撮影時の感染予防対策を講じるとともに、安全・安心な撮影環境が整備されていることをPRして撮影誘致活動を行う。 撮影された映画等のロケ地マップや看板等を製作し、積極的にPRすることで観光誘客を図る。 令和4年は沖縄復帰50周年にあたることもあり、引き続きメディアからの問い合わせが増加することが予想される。ロケの受入環境を整備するとともに、メディアを活用したPRの強化に取り組む。 		



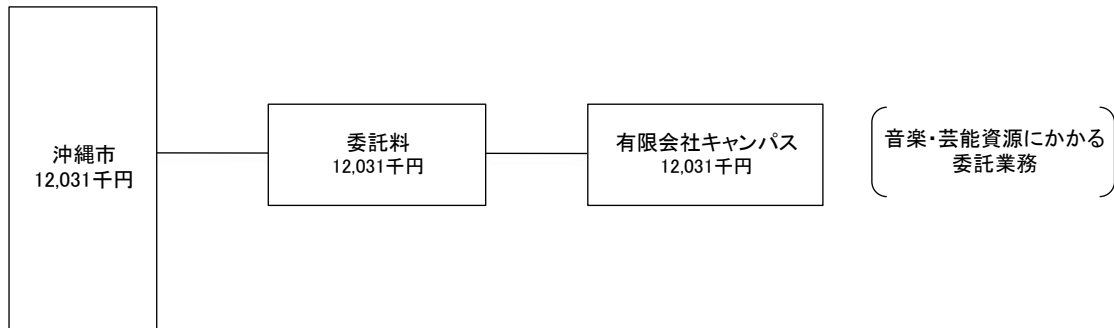
資金の流 れ、費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○補助団体は、本市において唯一のフィルムオフィス団体として、様々な支援活動を行っている団体であり、これまでの実績により、選定方法は妥当であると考えている。 ○予算規模は、事業計画に準じた内容となっている。 ○本事業は収益性がなく公益性の高い事業であるため、受益者負担が無いことは妥当であると考えている。 ○本事業は収益性がなく公益性の高い事業であり、費目、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		音楽資源活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
	経済文化部 文化芸能課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興	
担当部署名						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、収集した資料を活用した企画展の開催、展示室の運営などを行う。また、音楽によるまちづくりの更なる推進のため音楽資料の常設展示(音楽ミュージアム)に向け取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	11,852	14,173	14,431	13,235	13,217
	(b) 予算現額	12,157	14,173	14,431	13,235	13,217	
	(c) 増減額(b-a)	305	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0			
	A. 計(b+d)	12,157	14,173	14,431	13,235	13,217	
	B. 執行済額	12,157	13,984	14,263	12,659	12,031	
	うち交付金充当額	9,724	11,187	11,410	10,127	9,624	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.7%	98.8%	95.6%	91.0%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響で休館に伴う人件費や光熱費等が当初より減額となったため、1,186千円不用となった。 3月分については市の予算にて対応しており、当初計画どおりに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	音楽資料の常設展示	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	企画展の開催(3回)	目標	(3回)	(3回)	(3回)	(3回)	
		実績	6回	7回	5回	4回	
音楽イベント等の開催(1回)	目標	(1回)	(2回)	(1回)	(1回)		
	実績	1回	2回	1回	1回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 活動目標をH30年度より変更した。 沖縄民謡を中心に、本市ゆかりのミュージシャンの写真、音源(レコード・カセット・CD等)、映像、グッズ(書籍、パンフレット、チケット、情報誌等)の常設展示を行った。 これまで収集した音楽・芸能資源を活用し、企画展を4回開催した。 音楽イベントの開催では入場制限を設け年忘れコンサートを行った。動画配信にも取り組み県内外へおながく村の施設PR等を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光客来館者数:4,000人	目標	()	(3,500人)	(3,800人)	(4,000人)	()
		実績		5,335人	632人	1,750人	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	観光客来館者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大きく影響し、個人・団体観光客が大幅に減少し、目標より大幅に下回っている。しかし、イベント時に動画配信を行ったことで、内外にこの活動が発信され、おながく村を知らない方に対しても知っていただく機会となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響で、個人・団体観光客が大幅に減少した。緊急事態宣言による臨時休館や感染症拡大防止策に伴うイベントの入場制限等をおこなったことも要因に繋がっている。</p>	<p>・昨年度より、感染症感染拡大防止策としてイベント時に入場制限を設け、新たに動画配信を行っている。この取り組みにより、おんがく村を知らない方に対しても知っていただく機会となっている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束後の観光客数の回復に向け、感染拡大防止策を講じつつ、イベント時には動画配信を行い視聴数を伸ばせるよう視聴回数の把握に努め、県内外への広報活動を続けていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・展示物の消毒など、感染予防対策を行い、安心して来場できる環境を整えるとともに、ホームページやSNSを活用し、おんがく村の施設PRを行っていく。イベントについても、感染予防対策を講じ、動画配信を行うことで県内外への広報活動を続けていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
12,031	12,031	9,624	2,407	0



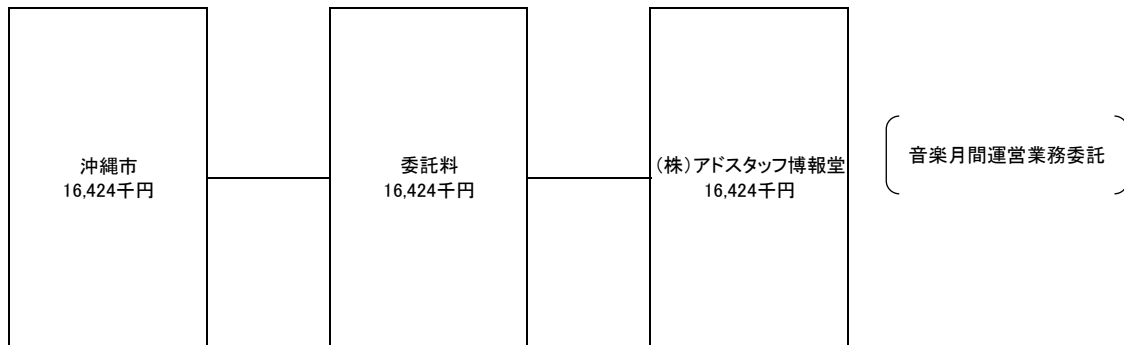
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、公募型プロポーザルで選定し、妥当であったと考える。 ○新型コロナウイルス感染拡大の影響で休館に伴う不用額が生じたが、事業に見合った支出内容であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	音楽観光誘客事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
	担当部署名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興	
事業内容	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、沖縄市のアーティストやライブハウスなどの音楽情報を広く発信するとともに、幅広いジャンルの音楽イベント等を開催する。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	34,964	23,679	24,119	22,435	16,563
	(b)予算現額	34,964	23,679	24,870	19,800	16,563	
	(c)増減額(b-a)	0	0	751	▲2,635	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	34,964	23,679	24,870	19,800	16,563	
	B.執行済額	34,634	23,167	24,870	19,799	16,424	
	うち交付金充当額	27,707	18,533	19,896	15,839	13,139	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.1%	97.8%	100.0%	100.0%	99.2%	
予算の状況の説明		事業全体として、概ね計画通り執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	音楽情報の発信(10月～12月)		目標 (7月～2月実施)	(5月～2月実施)	(10月～12月実施)	(10月～12月実施)	
			実績	7月～2月実施	5月～2月実施	10月～12月実施	10月～12月実施
	音楽イベント等の開催(2回)		目標 (2回)	(2回)	(3回)	(2回)	
		実績	3回	2回	3回	3回	
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催される音楽イベント等の情報を、ホームページ及びSNSを活用し発信した。 音楽イベントを10月(無観客)と12月(有観客)に開催し、10月～11月にかけて9回実施したLIVEイベントの収録内容を同期間内に9回オンラインにて配信した。(配信は9回しているが、同イベントとなるため実績は1回としている) 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:53,000人		目標 ()	(64,000人)	(53,000人)	(53,000人)	()
			実績	58,754人	1,899人	12,825人	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> おきなわ音楽月間では、HP及びSNSを活用し、市内の音楽関連の公共施設をはじめ、民間のライブハウス等で実施される音楽イベント等、音楽関連の情報を総合的に発信しており、情報発信をした主要イベントの集客数を成果目標としている。 令和3年度は、昨年度に続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、目標値に達せなかったが、一部有観客での音楽イベントを開催できたため、前年度より主要イベントの集客数は増加した。 おきなわ音楽月間宣伝動画を配信し、HP閲覧者数の増加へ繋げる取り組みを実施した。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業で実施する音楽イベントを含め、市内の音楽関連情報について、ホームページ及びSNS(Facebook等)を活用し、情報を発信した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、オンライン配信による音楽イベントが中心となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ及びSNSのみではなく、TVやラジオ等も活用した情報発信手法の強化が必要である。 ・オンライン配信の効果的な演出手法や、一過性とならない音楽イベント造りの検討を行い、音楽月間の知名度向上や地域の賑わい創出に繋げていく必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽情報の発信については、SNSやラジオ等を活用した情報発信を行い、閲覧数を増やす取り組みを行う。 ・音楽イベントについては、地域の賑わいが継続していけるようなイベントを検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
16,424	16,424	13,139	3,285	0

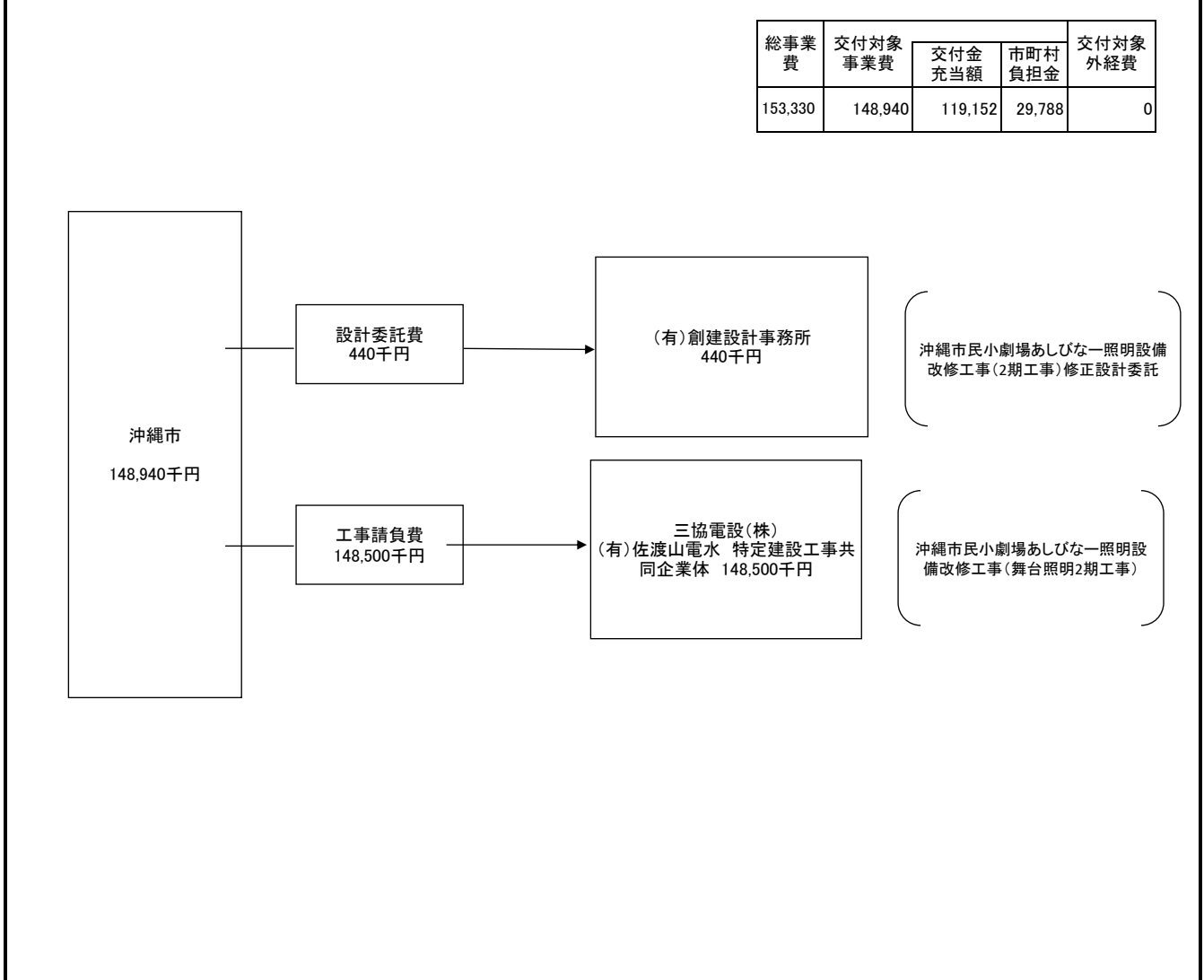


資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は、公募型プロポーザルで選定し、妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市									
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	1-④		文化活動拠点施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア					
	担当部署名	経済文化部 文化芸能課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立				
事業内容		文化の振興及び観光誘致の拡大を図るため、伝統芸能や演劇等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の舞台機構や舞台照明等、設備の機能充実を図る。					Ⅲ-1-(1)				
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度	
		(a) 当初予算額	126,954	110,530	3,500	166,546	153,330				
	(b) 予算現額	106,378	83,726	3,500	161,700	153,330					
	(c) 増減額(b-a)	▲ 20,576	▲ 26,804	0	▲ 4,846	0					
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0					
	A. 計(b+d)	106,378	83,726	3,500	161,700	153,330					
	B. 執行済額	106,378	83,725	2,255	161,700	148,940					
	うち交付金充当額	85,102	66,979	1,804	126,118	119,152					
	次年度繰越額	0	0	0	0	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	64.4%	100.0%	97.1%					
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行した。なお、不用額の要因は、入札残(4,390千円)である。									
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況								
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					
	沖縄市民小劇場あしびな一照明設備機器改修工事	目標	(工事)	(設計)	(工事)	(工事)					
		実績	工事完了	設計完了	工事完了	工事完了					
		目標	()	()	()	()					
実績											
達成状況説明	令和3年度に照明設備機器等の2期工事を行った。										
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(4年度)				
	沖縄市民小劇場あしびな一照明設備機器改修工事の完了	目標	()	(設計の完了)	(工事の完了)	(工事の完了)	()				
		実績	/	設計の完了	工事の完了	工事の完了	/				
	施設稼働率:77%以上	目標	()	()	()	(77%以上)	(-)				
		実績	/			42%	/				
【参考指標】 沖縄市民会館大ホール年間利用者数	目標	()	(-)	(-)	(-)	(43,000人)					
	実績	/	-	-	31,121人	/					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に照明設備機器等の2期工事を行った。 沖縄県より5月23日～9月12日に発出された「特措法に基づく緊急事態措置に係る沖縄県対処方針」を受け、一部公演中止や延期があったことから、稼働率が目標値を下回った。 										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・2期目の照明設備機器等の機能強化工事が完了し、利用者の利便性や満足度アップを図ることができた。 ・今後は機能強化した照明機器について周知を強化し、利用者拡大に努めることが課題となる。 ・令和3年度も新型コロナウイルスの影響を受け稼働率が伸び悩んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明設備機器等の機能強化に関する情報(グレードアップした部分について等)をホームページ等でPRし利用促進を図る必要がある。 ・利用者との事前打ち合わせ時に、機能強化していることを周知する必要がある。 ・会館利用促進につながるよう、バックステージツアーといった自主事業に力を入れることに加え、会館利用メニューの拡充を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度及び令和3年度で照明設備機器等工事1期・2期の工事が完了。 ・新型コロナウイルスの影響を受け稼働率が伸び悩む中、小規模の発表会等、新規利用者の数字も改善しつつあるため、照明設備の改修を完了したことで、これまで以上に質の高い照明機器が整備され充実した舞台環境となることを、ホームページ等で広くPRし利用者拡大に努める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は指名入札方式により選定しており、妥当である と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○照明設備機器等の現状を把握したうえで事業を実施して おり、適正な予算規模であると考え。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、事業目的達成の観点から必要な ものなのか等について、額の確定時に支出等に関する書類 により確認し、適正であると考え。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤		国際交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-イ	
	経済文化部 文化芸能課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界と共生する社会の形成	
担当部署名						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を旨とし、コザインターナショナルプラザにおいて県内関係機関や兄弟姉妹都市等の国際交流協会などとの連携を図り、拠点施設としての機能充実を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	16,544	16,968	17,545	17,794	17,020
	(b)予算現額	16,544	16,968	17,545	19,324	17,020	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	1,530	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	16,544	16,968	17,545	19,324	17,020	
	B.執行済額	15,105	16,822	17,157	16,970	15,544	
	うち交付金充当額	12,083	13,457	13,725	13,576	12,435	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	91.3%	99.1%	97.8%	87.8%	91.3%	
予算の状況の説明		予定していた取組は概ね実施し、適正に予算を執行した。年間運営を行う業務であり、11ヶ月分を沖縄振興特別推進交付金の活用とし、1ヶ月分(3月)は市の単費を充て実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①多言語相談(週6日) ②多言語語学講座(週3回) ③多国籍住民等との交流会の実施		目標 (①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会の実施)	(①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会の実施)	(①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会の実施)	(①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会の実施)	
		実績 (①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会の実施)	(①多言語相談(週6日) ②語学講座(週9回) ③交流会の実施)	(①多言語相談(週6日) ②語学講座(週9回) ③交流会の実施)	(①多言語相談(週6日) ②語学講座(週9回) ③交流会の実施)		
達成状況説明		①多言語相談については、毎週月曜日～土曜日の週6日に対応しており、相談内容によって、適切な専門家への繋ぎや前例を元にしたアドバイス等を行った。 ②多言語語学講座については、英語・スペイン語・中国語・韓国語・日本語講座を開講。(講座回数:年間合計480回 週9回程度) ③多国籍住民との交流については、世界のウチナーンチュの日関連イベント、ビーチクリーン、アドベントカレンダー作り、韓国式ヨガ、中国の旧正月に関連したごま団子づくり等、国際色豊かなイベントを実施。また、ゆんたく交流会においては、職場、地域、家庭の話題から沖縄の文化、習慣、歴史など、幅広いテーマを取り上げながら実用的な日本語の学習を行うとともに、外国人住民と地元住民の出会い・交流・情報交換の場となっている。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①来所者数:7,000人 ②生活上の困難の改善が図れたか(80%以上)を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		()	(①来所者数 8,709人 ②80%以上)	(①来所者数 8,500人 ②80%以上)	(①来所者数 7,000人 ②80%以上)	()
				(①来所者数 8,218人 ②98%)	(①来所者数 2,726人 ②100%)	(①来所者数 5,145人 ②94.4%)	
			()	()	()	()	()
進捗状況説明		・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、施設の閉館、営業時間の変更を行ったことから、来所者数が減少したため、目標値には届かなかったが、語学講座をオンラインで開催したり、イベントを動画配信したりなど、新型コロナウイルスの感染状況に応じて国際交流事業を実施した。 ・多言語相談については、ビザの取得や継続、コロナ支援金、就職、起業、開業等の相談に対し、入国管理局や各種コミュニティと連携して対応を行った。利用者アンケートにおいては、9割以上の方が満足したとの回答であった。					

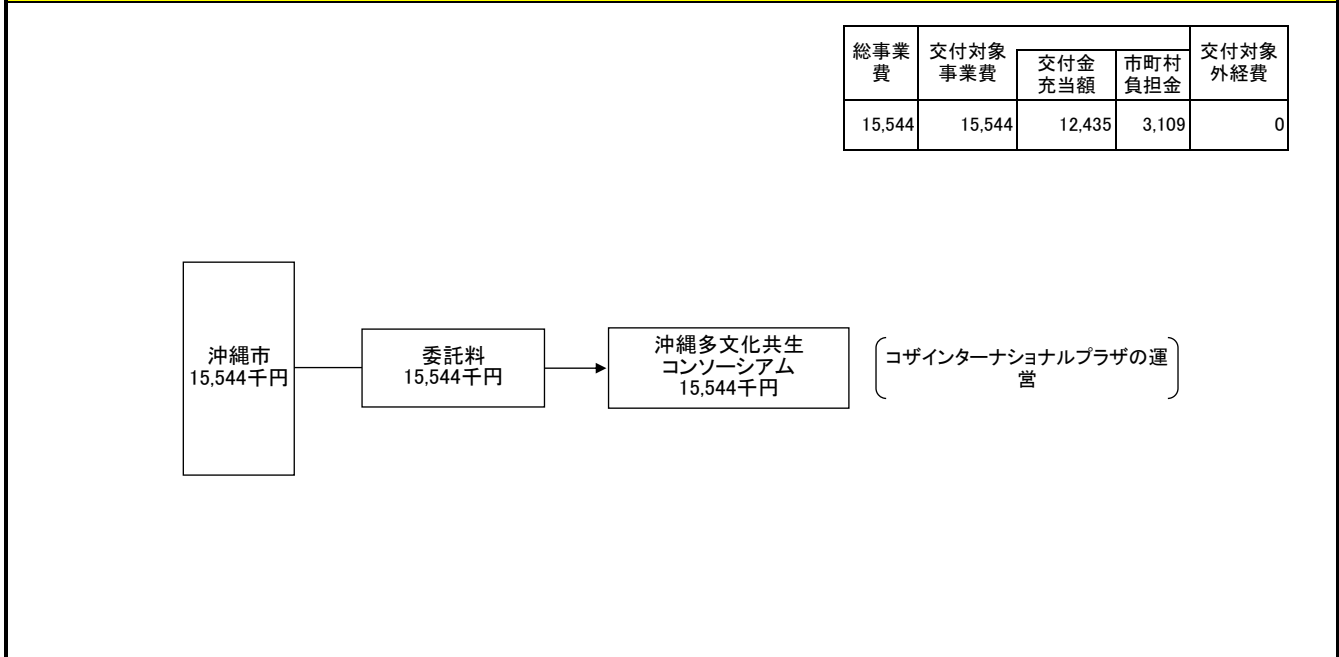
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(来所者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、いくつかのイベントを中止・縮小せざるを得なかった。また、市のガイドラインに沿って講座やイベントの人数を制限したり、感染防止のため、交流会への参加を見送る方も多く、来所者数が目標を下回った。 R4年度に関しても引き続き影響が予想される。 出入国制限の緩和に伴い、ワクチン接種証明書や渡航に関するお問合せの増加が予想される。 2022年に開催される世界のウチナーンチュ大会や、2023年に開催されるFIBAバスケットボールワールドカップ2023を見据え、社会全体において、国際化及び国際交流の機運が高まってくると予想される。 	<p>(来所者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの状況により、イベントの実施や直接の来所が困難な場合でも、コザインターナショナルプラザが交際交流拠点としての役割を果たせるようにする。また、来所者数の増加に向け、新型コロナウイルスの感染状況を見極め、積極的に対面形式でイベントを実施していく必要がある。 問い合わせへの対応を多言語でも円滑に行うため、市民に送付される書類の内容を把握しておく必要がある。 講座・イベント関連については、大規模イベントに貢献できるような人材育成を意識して企画・提案していく必要がある。

今後の取り組み方針

(来所者数)

- 来所者数の増加を図るため、新型コロナウイルスの感染状況を見極め、県の対処方針を基に感染対策を講じた上で、可能な限り対面形式でイベントを実施する。
- また、市のSNSを活用し、引き続きコザインターナショナルプラザの周知を行う。
- 市民に送付される案内や、市からの情報を多言語化し、SNS等で発信することで、外国人住民にも情報が行き渡るよう努める。
- 講座・イベント関連については、大規模イベントに貢献できるような人材育成を意識して企画・提案していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により庁内選定委員会より選定しており、選定方法は妥当であるといえる。 ○不用額が10%以内であり、予算規模は適正であった。 ○費目、用途については、目的に即し、必要なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	エイサーのまち推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	53,163	68,192	43,374	41,092	33,120
		(b) 予算現額	478,896	86,183	43,374	2,178	6,980
		(c) 増減額(b-a)	425,733	17,991	0	▲ 38,914	▲ 26,140
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		478,896	86,183	43,374	2,178	6,980
	B. 執行済額		472,142	83,611	41,248	2,067	5,184
	うち交付金充当額		377,713	66,889	32,998	1,653	4,147
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.6%	97.0%	95.1%	94.9%	74.3%
予算の状況の説明		当初、沖縄全島エイサーまつりの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったため、関連予算26,140千円を減額した。 不用額については、新型コロナウイルス感染症の影響による費用弁償の未執行によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	エイサーのまちPR事業 ・エイサーステッカー製作 ・エイサーリーフレット製作 ・街中へのエイサーバナー等設置 ・エイサーキャラクターの着ぐるみ製作		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
達成状況説明 エイサーのまち沖縄市をPRするために、エイサー会館との連携によるインターネットを活用した動画配信や広報活動を行った。また、各種グッズ製作および、エイサー旗の掲揚を3か月行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(25年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	エイサーイベント来場者数		目標 (320,000人)	(403,403人)			()
			実績	403,769人			
	エイサー会館来場者数		目標 ()	(28,584人)	(27,874人)	(26,788人)	()
			実績	26,772人	9,556人	9,200人	
進捗状況説明 ・エイサーイベント来場者数については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、沖縄全島エイサーまつりを始めとしたエイサーイベントが中止となったことから、令和2年度と同様に成果目標の設定をしていない。 ・エイサー会館来場者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大きく影響し、個人・団体観光客が大幅に減少し、目標より大幅に下回っている。 ・SNSや動画配信を活用した周知活動を行いつつ、感染対策については、館内設備の定期的な除菌作業を行うとともに、イベント時含め、来館者には検温・手指消毒やマスクの着用等の協力を求めている。							

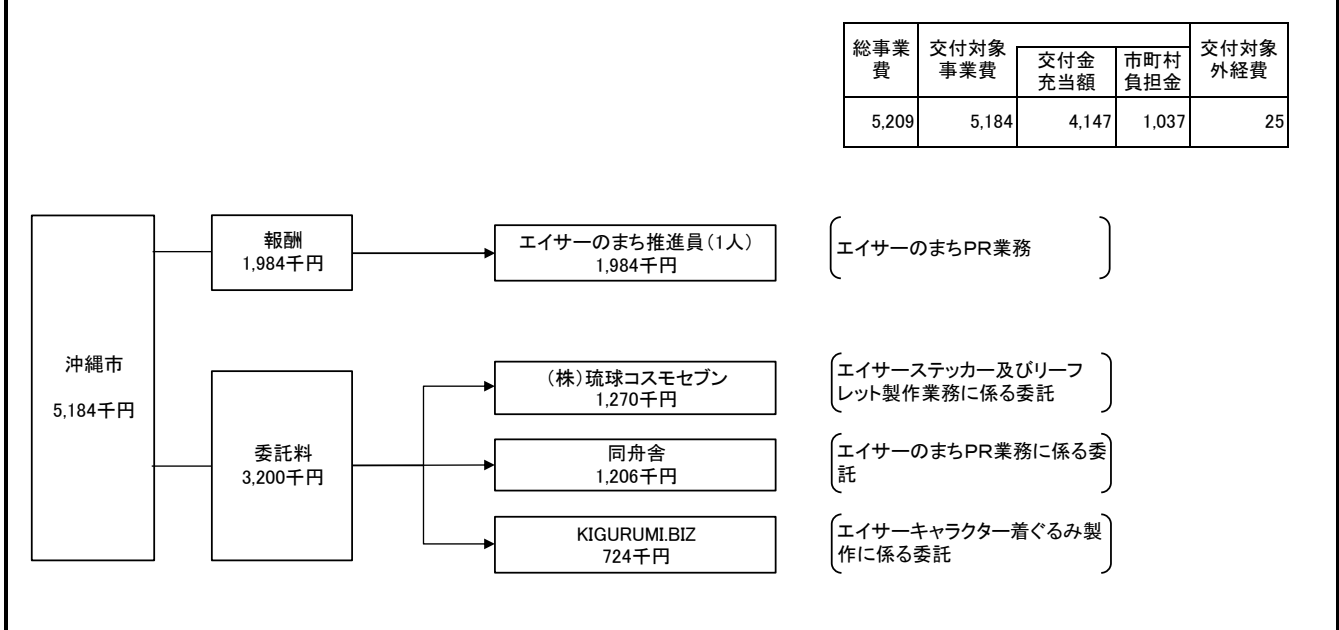
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(エイサーイベント来場者数)</p> <p>令和3年度はエイサーイベントが中止となったが、今後開催するにあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための対策が必須となっており、入場制限や検温消毒等の方法についての検討が必要となる。</p> <p>また、新型コロナによるイベントの中止やエイサー等の活動自粛により、市内青年会が衰退の傾向にあり、まつり出演者数にも影響が出ている。</p> <p>(エイサー会館来場者数)</p> <p>・エイサー会館来場者数が目標値を下回っているが、新型コロナウイルスの影響による外出自粛が主な要因となっている他、国・県の緊急事態宣言等による臨時休館や営業時間短縮、施設内コンテンツの利用制限、実施予定のイベントの中止等、感染症感染拡大防止策を実施したことも要因に繋がっている。</p>	<p>(エイサーイベント来場者数)</p> <p>・沖縄全島エイサーまつり等のエイサーイベントの開催に向け、感染症対策の手法を検討する。</p> <p>・まつり出演者である青年会のエイサー活動の場の提供が必要である。</p> <p>(エイサー会館来場者数)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束後の観光客の回復に向け、観光関連事業者や修学旅行等の団体旅行者へのPRが必要である。</p>

今後の取り組み方針

(エイサーイベント来場者数、エイサー会館来場者数)

- ・エイサーイベントについては、感染症対策を講じた上での開催手法を検討したうえで、沖縄全島エイサーまつりの空間演出による魅力向上及びシャトルバス運行による来場者の利便性向上に引き続き取り組むとともに、エイサーグッズの製作やエイサーパナー掲揚等により来場意欲を高める。
- ・エイサー会館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束後の観光客の回復に向け、沖縄市観光物産振興協会等と連携し、観光関連事業者や修学旅行等の団体旅行者へのPR活動を行う。
- ・エイサーの担い手である青年会について、エイサー会館と連携しエイサー披露の場を提供することで、文化の保存継承及び活性化につなげる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

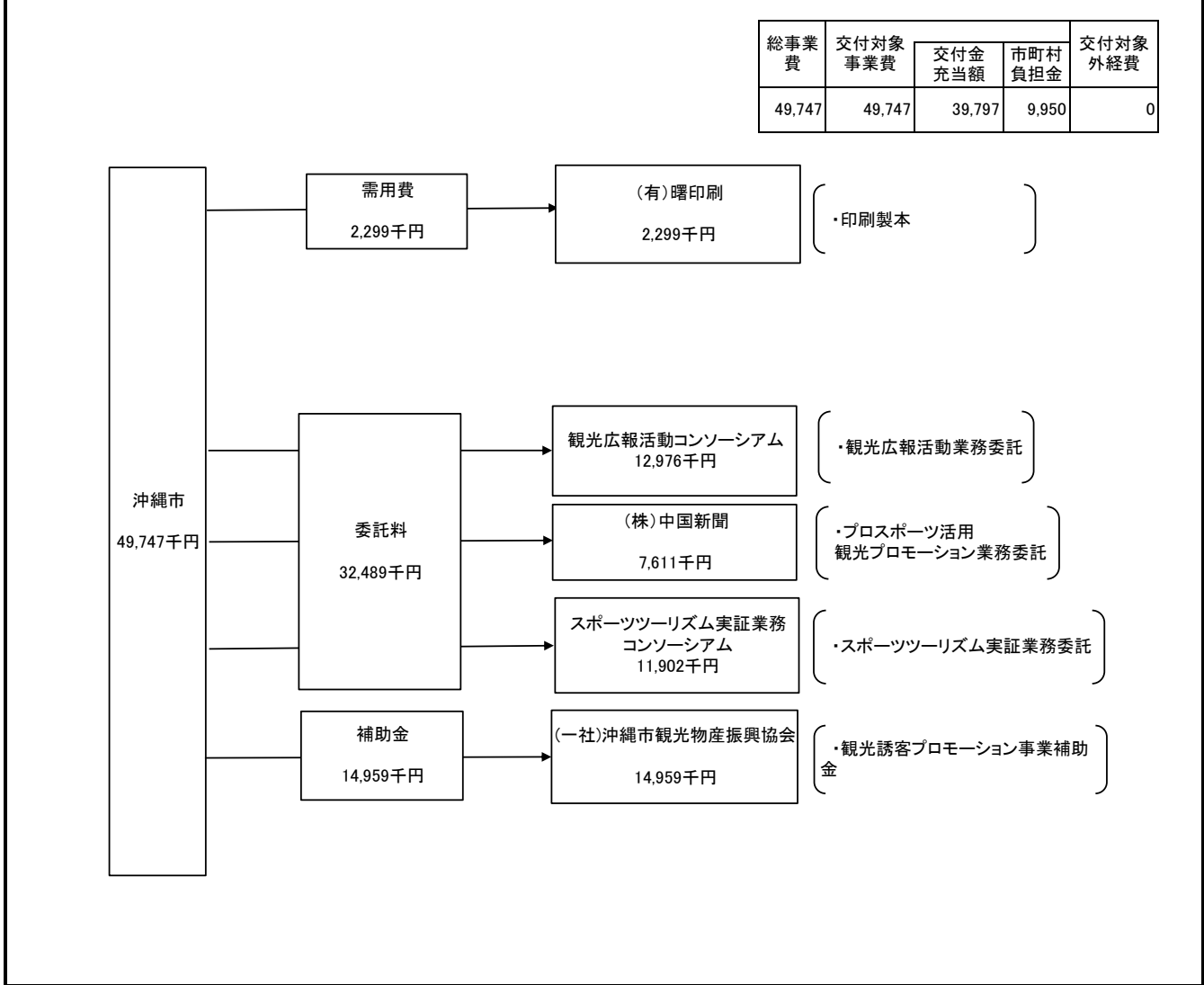


資金使途の流れ・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○支出先は、入札方式等で選定しており、妥当であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模は事業計画に準じた内容となっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】					
事業番号・事業名	1-⑦	観光宣伝事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
事業内容	観光PR活動の実施により、滞在型観光の推進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		56,734	76,318	48,803	79,180	66,217	
		82,617	76,318	48,803	79,180	55,217	
		25,883	0	0	0	▲ 11,000	
		82,617	76,318	48,803	79,180	55,217	
		82,449	73,303	48,552	68,754	49,747	
		65,958	58,642	38,841	55,003	39,797	
		99.8%	96.0%	99.5%	86.8%	90.1%	
予算の状況の説明	観光誘客プロモーション事業については、当初予算額のうち、11か月分を沖縄振興特別推進交付金の活用により事業を実施しており、1か月分は市単独予算により事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①各種メディアやWEBを活用した観光広報活動業務 ②ガイド養成講座の実施 ③モニターツアーの実施	目標	①実施 ②16回 ③4回	①実施 ②16回 ③11回	①実施 ②16回 ③25回	①実施 ②16回 ③25回	
		実績	①実施 ②16回 ③24回	①実施 ②16回 ③31回	①実施 ②16回 ③27回	①実施 ②16回 ③36回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオやSNSを通して市のイベントや観光情報を発信した。 ・ガイド養成講座は前期8回11名が参加、後期8回11名が参加し目標を達成した。 ・モニターツアーは全36回計103名が参加し、目標を上回った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	主要ホテル宿泊延べ人数	目標	()	(357,757人)	(354,585人)	(177,292人)	()
		実績	/	281,473人	110,730人	97,489人	/
	【参考指標】 主要施設入場者数	目標	()	()	()	()	()
		実績	/	3,890,391人	2,099,989人	2,489,278人	/
進捗状況説明	観光情報誌「沖縄市GO」の県外催事や県内の宿泊施設等において配布するとともに、ナイトメイヤーを活用し、withコロナ/afterコロナにおけるイベントを開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、沖縄県において、令和3年4月には県独自の「感染急拡大を封じ込めるための緊急特別対策」が実施されるとともに、令和3年5月～9月まで国の緊急事態宣言が発出された。また、令和4年1月には、新型コロナウイルス感染症の再流行により、まん延防止措置地域に指定されたため、宿泊人数が伸び悩み、目標を達成することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、感染対策を講じたイベントの実施やSNSを活用したプロモーションが実施できた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部イベントを中止せざるを得ない状況であったことから、宿泊延べ人数が目標を達成できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染対策の徹底と社会情勢の変化を踏まえたイベントやプロモーションの手法の検討が必要である。 県内外のイベントや商談会、修学旅行フェア等において積極的なPR活動をおこない、市内宿泊を促進する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、イベントの屋外での開催やオンライン配信を併用するとともに、SNSを活用したプロモーションをおこなう 社会情勢の動向に注視しながらインバウンドの受け入れに向けたプロモーション活動の検討をおこなう。 県内外のイベントや商談会、修学旅行フェア等において積極的なPR活動をおこない、修学旅行入込数の増加を図り、市内宿泊を促進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



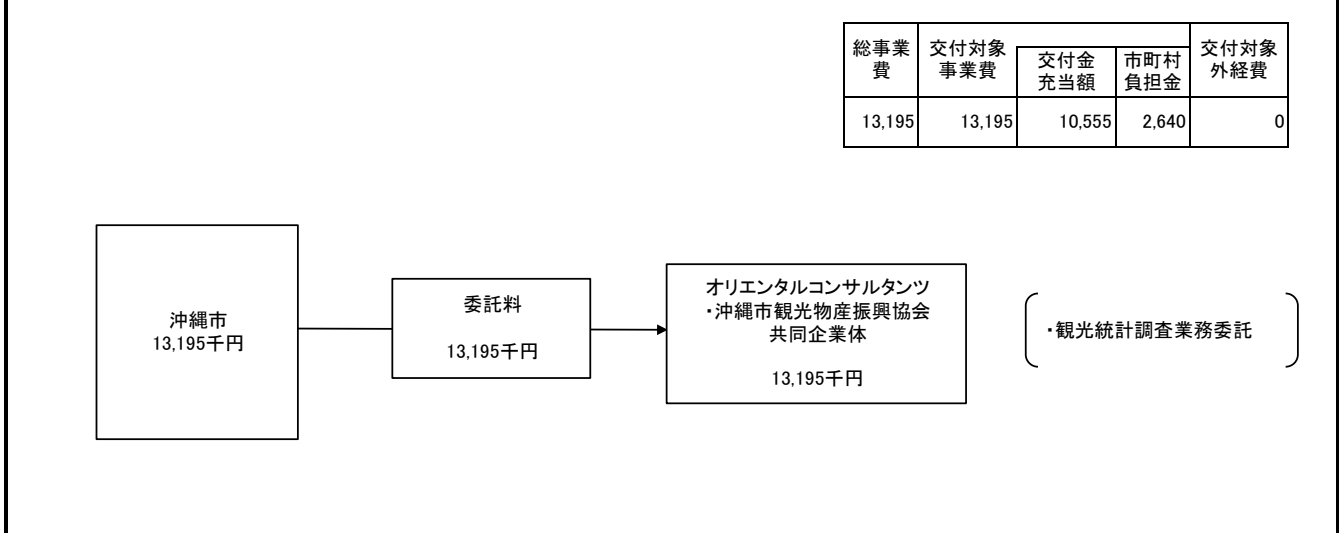
資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業については、公募型プロポーザル方式による事業者を選定した。一部の委託事業と補助事業については観光に関する知識や経験及び関係団体との連携を考慮し判断した。 ○予算規模は事業計画に準じた内容となっている。 ○本事業の補助事業の経費については補助金と受益者負担により実施されており、受益者との負担関係は妥当であると考えている。 ○本事業は費目、使途については、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	文化芸能推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本市独自の魅力ある伝統芸能と観光を連携させ、沖縄市をPRLさらなる誘客を図るため、沖縄市伝統芸能作品の公演を街中で実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	29,344	31,601	27,757	0	16,264
	(b) 予算現額	29,344	31,601	27,757	0	16,264	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	0	0	
	A. 計(b+d)	29,344	31,601	27,000	0	16,264	
	B. 執行済額	29,109	31,374	26,730	0	16,264	
	うち交付金充当額	23,286	25,099	21,384	0	13,011	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.2%	99.3%	99.0%	#DIV/0!	100.0%	
予算の状況の説明	概ね計画通りに執行。 新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、拡大防止策を考慮した公演内容に微調整を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	本公演1回	目標	(本公演1回 プレ公演1回)	(公演1回)	()	()	
		実績	本公演1回 プレ公演1回	公演1回			
芸術祭1回	目標	()	()	()	(芸術祭1回)		
	実績				芸術祭1回		
達成状況説明	中心市街地(沖縄市民会館、市民小劇場あしびなー、シアタードーナツ、トリップショットホテルズ・コザ等)を会場として芸術祭を1回開催し、市内伝統芸能を中心に、吹奏楽、組踊、ミュージカル、お笑いライブ、映画、アート展示等を実施し、地域文化芸能の魅力を市内外へ広く発信し地域芸能に触れる機会の創出を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	おきなわ芸能フェスティバル来場者数: 16,681人	目標	()	(16,681人)	()	()	()
		実績		8,429人			
	舞台公演3回 展示公演1回	目標	()	()	()	(舞台公演3回 展示公演1回)	()
実績					舞台公演7回 展示公演4回		
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会場変更や実施方法の見直しなど課題は多かったが、感染防止対策を取りつつ7公演、4会場での展示を実施することができた。 また、地元FMラジオのFMコザにて、公演当日に出演者による告知等も行い、広く市内外へからの来場を呼びかけた。						

市町村名		沖縄市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑨	観光統計調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開			
事業内容	多様化する観光ニーズに対応し、より効果的な観光施策による観光誘客を目的として、本市の観光の実態調査を行う。アンケート調査およびビッグデータやICT等の統計データの活用など、多角的に分析を行うことにより、本市の観光施策展開のための基礎資料とする。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,495	11,286	7,992	13,195	13,195	
			4,495	11,286	7,992	13,195	13,195	
			0	0	0	0	0	
			4,495	11,286	7,992	13,195	13,195	
	B. 執行済額 うち交付金充当額		5,296	11,280	7,986	13,185	13,195	
			4,236	9,024	6,388	10,547	10,555	
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)	117.8%	99.9%	99.9%	99.9%	100.0%	
		予算の状況の説明	事業計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	観光入込統計調査の実施 観光関連団体等との勉強会開催		目標	実施	実施	実施	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施		
達成状況説明		観光統計調査業務として下記の事項を行った。 ①観光実態調査として、国や県と本市の観光統計について整理。 ②携帯GPSデータを活用し、観光客の動態分析を実施。 ③大型イベント・スポーツキャンプ等における観光動態分析を実施。 ④大手旅行サイト口コミ分析、WEBアンケートの実施、市内ホテルの宿泊実績の把握調査を実施。 ⑤本市に訪れる観光客によって、市内にどの程度の経済効果がもたらされているかを把握するため、経済波及効果の推計を実施。 ⑥バリアフリー観光を推進するため、市内事業者の観光バリアフリー取組状況等を把握するためのアンケートを実施。 ⑦市内観光関係者との勉強会の開催。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	・観光入込統計調査・分析による実態把握 ・観光関連団体等との情報共有及び地域との連携強化 ・観光誘客に係る目標値の設定		目標	()	()	(完了)	(完了)	()
			実績	/		完了	完了	/
			目標	()	()	()	()	()
		実績	/				/	
進捗状況説明		沖縄市観光統計調査報告書として、下記の内容を取りまとめ、紙媒体での発行、市HPにて公表した。 ①観光実態調査、②観光客満足度・消費動向調査、③経済波及効果の推計、④観光バリアフリー実態調査、⑤マーケティング分析、⑥今後の方向性						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、コロナ前と比べて観光客が減少しているため、観光統計情報に与える影響が大きい。 市内外の事業者による観光統計情報に基づいた(活用した)企画・事業提案等を促進する取り組みも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響や施策実施による観光統計情報の変化について、その要因等の分析・把握に努める。 市内外の事業者への効果的な周知方法と、統計情報のマーケティング等への有効活用に向けた取り組みについて、観光関連団体や民間事業者等との勉強会等を通して改善を図りつつ推進する。 高齢者や障がい者、妊産婦等、誰でも安心して観光を楽しんでいただけるよう「観光バリアフリー」の実現に向けた検討を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の収束後、インバウンド観光客の受入れが再開した際にレンタカーGPS調査などを実施し、市内への立ち寄り箇所や平均滞在時間等の分析に努める。 観光統計情報を活用した事業の取り組みを推進し、事業の効果検証方法を確立することで、戦略的な施策を展開する。 新型コロナウイルス感染症拡大による観光への影響を把握し、今後における観光宣伝・施策の再考に努める。 観光関連団体や民間事業者と勉強会等を開催し、本調査で得られたデータの利活用に向けて取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業については、公募型プロポーザル方式により業者を選定し、選定方法は妥当だと考える。 ○予算規模は事業計画に準じた内容となっている。 ○本事業は費目、使途については、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

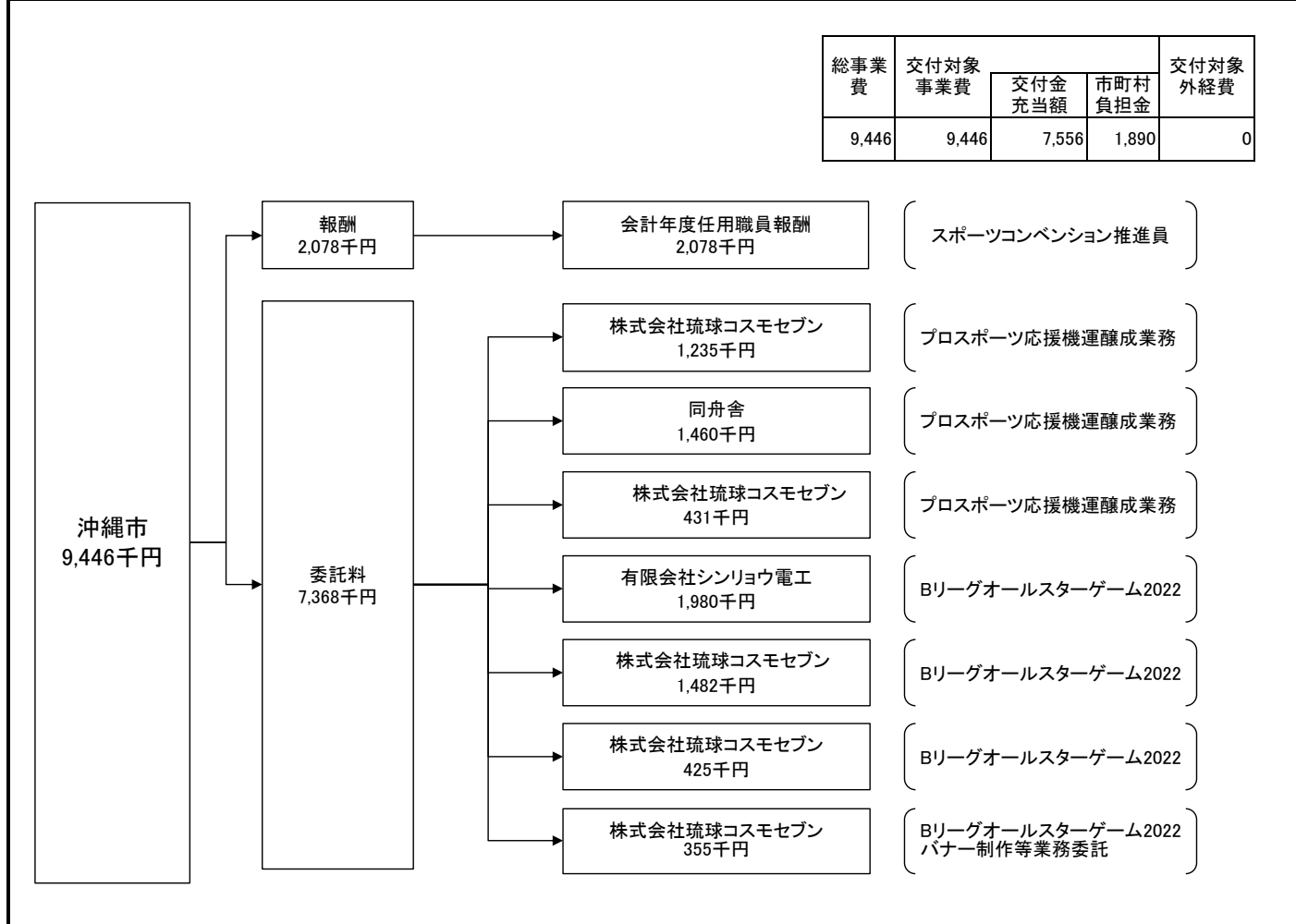
市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	スポーツコンベンション推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	経済文化部 観光スポーツ振興課 企画部 プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。また、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。また、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ開催に向けた機運醸成に取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,317	67,994	20,138	22,544	12,004
	(b) 予算現額	45,706	67,994	20,138	22,544	12,004	
	(c) 増減額(b-a)	37,389	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	45,706	67,994	20,138	22,544	12,004	
	B. 執行済額	45,438	65,049	19,599	21,517	9,446	
	うち交付金充当額	36,349	52,039	15,679	17,213	7,556	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.4%	95.7%	97.3%	95.4%	78.7%	
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行しており、不用額は入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	①スポーツ合宿誘致・受入 ②スポーツ団体活動支援:4団体(FC琉球、琉球ゴールデンキングス、広島東洋カープ、パンサーズ) ③Bリーグオールスターゲーム機運醸成の実施	目標 ①12ヶ月・2回 ②3団体	①12ヶ月・2回 ②4団体	①12ヶ月・誘致活動 ②4団体	①12ヶ月・誘致活動 ②4団体 ③実施		
実績	①12ヶ月・3回 ②4団体	①12ヶ月・0回 ②4団体	①12ヶ月・誘致活動なし ②4団体	①12ヶ月・誘致活動なし ②4団体 ③実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・年度(12ヶ月)をとおして合宿等の受入を行う準備は行っていたが、新型コロナウイルスの影響により、受入予定であった合宿の自粛が多かったため合宿受入の実績は127件となった。 ・誘致活動については、新型コロナウイルスの影響により感染拡大防止の観点で、実施ができなかった。 ・プロスポーツチームへの支援については、広島東洋カープ、FC琉球、琉球ゴールデンキングス、パナソニックパンサーズを対象に応援幕等の作成・設置による機運醸成を図った。FC琉球や琉球ゴールデンキングスのファン交流イベントやシーズン終了セレモニ等は、新型コロナウイルスの影響により未開催となった。 ・Bリーグオールスターゲームの開催に向けて、バスラッピングやのぼり旗を制作し機運醸成を図った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	スポーツ合宿延べ宿泊者数:13,493人	目標	()	(24,352人)	(38,700人)	(13,493人)	()
		実績		26,986人	2,783人	9,632人	
	ホームゲーム年間来場者数:130,693人	目標	()	(158,421人)	(205,660人)	(130,693人)	()
		実績		194,163人	33,184人	154,494人	
	Bリーグオールスターゲーム機運醸成イベント開催来場者数:300人	目標	()	()	()	(300人)	()
実績					イベント中止		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間を通して合宿の自粛が多かったため、宿泊者数は減少している。 また、ホームタウンプロスポーツチームのホームゲームの来場者数について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、無観客や観客動員数の制限があったため、年間来場者は減少したものの、新型コロナ感染症の対策により、目標を達成することができた。 ・ホームタウン・サブホームタウンチームの年間来場者数の増加につなげるため、4団体の応援幕等の作成・設置による機運醸成を行った。 ・Bリーグオールスターゲームについては、出場選手にコロナ陽性者が確認されたことから中止となったものの、開催前には、のぼり旗の掲示やバスラッピング等を行うなど、機運醸成を図った。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響が続いているが、少しずつ合宿を行う団体は増えてきているので、引き続き安全・安心な合宿につなげられるようコロナ対策を実施していく。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響で県外への誘致活動を行うことが出来ない状況であった。</p> <p>③Bリーグオールスターゲームは中止となったが、Bリーグにて、2024年のオールスターゲームは沖縄アリーナで開催決定と発表があるため、2024年に向けた機運醸成も検討していく。</p>	<p>①引き続き、関係団体と連携を図りながら、受入れのガイドライン等を作成・改善することにより、安全・安心な合宿が可能であることのPRや誘致活動を継続的に実施し、スポーツ合宿宿泊者数の増加に取り組む必要がある。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症が落ち着き次第、県外の誘致活動を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加につなげていく必要がある。</p> <p>③引き続き、年間来場者数の増加につなげるため、機運醸成に繋がる取組を行っていく必要がある。</p> <p>④2023年に、FIBA/バスケットボールワールドカップも控えていることから、スポーツによるまちの活性化を目指し、スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図る。</p>

今後の取り組み方針

- ①市内をバナー等の装飾等でホームタウンプロスポーツチームの活動の機運醸成を図ることで、ホームタウン・サブホームタウンの支援を引き続き行い、ホームゲーム等の来場者の増加や多くの来場者が市内へ回遊を行うような取り組みを行う。
- ②2023年FIBAバスケットボールワールドカップ沖縄市開催に向けての機運醸成の取組を実施し、スポーツコンベンションの推進や地域活性化につなげていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

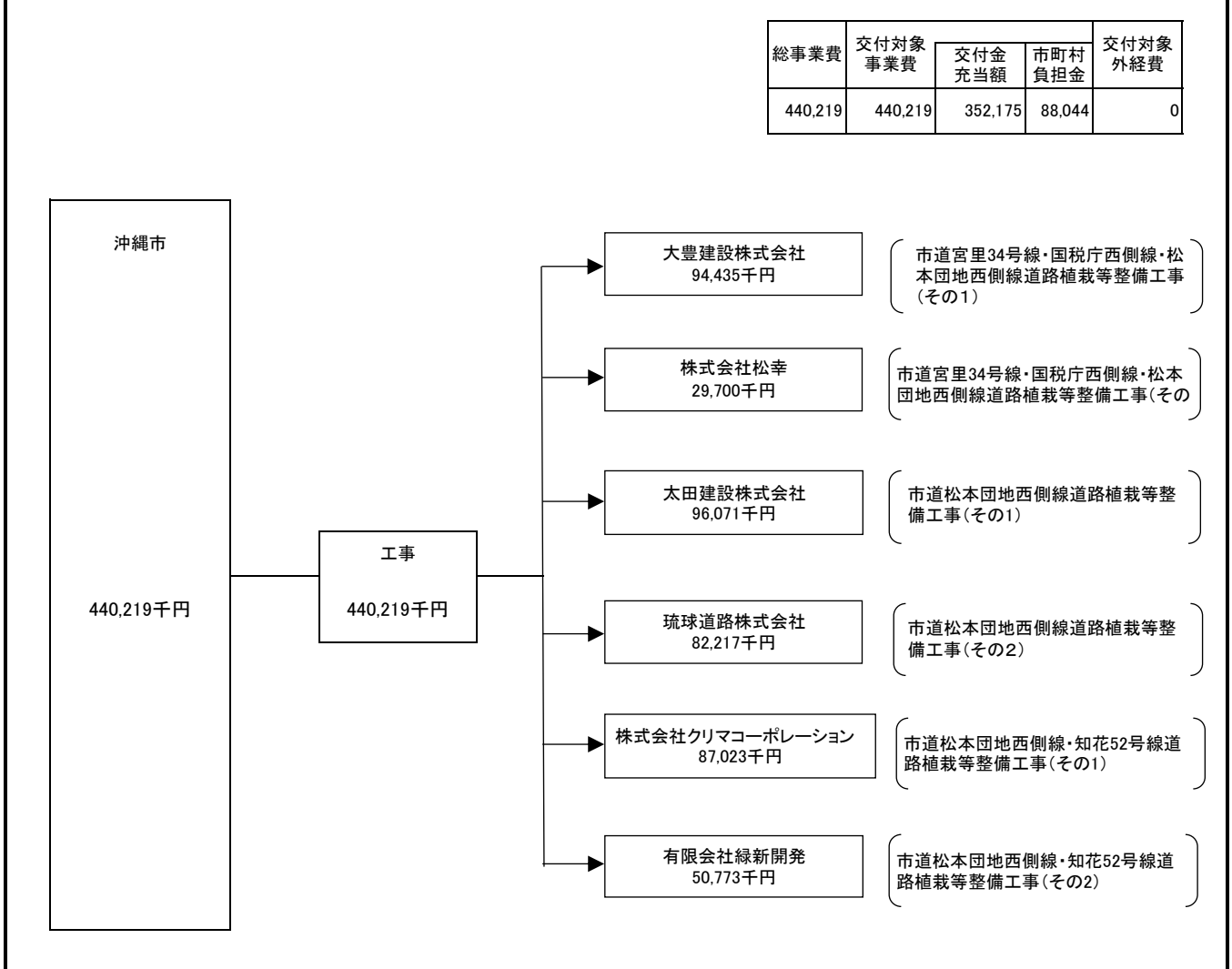


資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は一般競争入札等で選定している為、妥当である。 ○予算規模は事業計画に準じた内容となっている。 ○費目・使途については、業務委託完了後に検査を実施しており、目的に即していることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①		道路景観形成推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部署名	建設部 道路課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		観光地周辺道路を植栽整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	■当年度		■後年度(R4年度)			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	139,110	107,000	10,033	139,216	480,150
		(b)予算現額	115,496	107,000	10,003	114,616	480,150
		(c)増減額(b-a)	▲23,614	0	0	▲24,600	0
		(d)繰越額	30,446	0	0	0	0
	A.計(b+d)		145,942	107,000	10,003	114,616	480,150
	B.執行済額		138,216	99,486	8,124	114,567	440,219
	うち交付金充当額		110,572	79,589	6,499	83,529	352,175
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.7%	93.0%	81.2%	100.0%	91.7%
予算の状況の説明		予算額と執行額との差額については、工事予定価格と入札額との間に差(△39,931千円)が生じたものの、執行率は91.7%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	道路植栽等整備工事1路線(安慶田中学校線)	目標	(1路線)	()	()	()	
		実績	1路線				
	道路植栽等整備実施設計3路線	目標	()	(3路線)	()	()	
		実績		3路線			
	①道路植栽等整備実施設計(松本団地西側線・知花52号線)	目標	()	()	(2路線)	()	
		実績			2路線		
	①市道宮里31号線道路植栽等整備工事(1工区) ②市道宮里31号線道路植栽等整備工事(2工区)	目標	()	()	(1路線)	()	
		実績			1路線		
①市道宮里34号線・国税庁西側線・松本団地西側線道路植栽等整備工事(その1) ②市道宮里34号線・国税庁西側線・松本団地西側線道路植栽等整備工事(その2) ③市道松本団地西側線道路植栽等整備工事(その1) ④市道松本団地西側線道路植栽等整備工事(その2) ⑤市道松本団地西側線・知花52号線道路植栽等整備工事(その1) ⑥市道松本団地西側線・知花52号線道路植栽等整備工事(その2)	目標	()	()	()	(4路線)		
	実績				4路線		
達成状況説明	道路植栽等整備工事は当初予定していた4路線を完了しており、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(4年度)
	実施設計完了	目標	()	(3路線)	()	()	()
		実績		3路線			
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含めアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			-	90%	
【参考指標】 景観形成1年経過後の目標として、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)について道路利用者(観光客等)へアンケートを行い、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)	
進捗状況説明	道路植栽等整備工事について当初予定していた4路線が完了し、整備完了後に観光客からのアンケート調査を実施したところ90.0%の満足度を得る結果となり、目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年度に安慶田中学校線、R2年度に宮里31号線、R3年度に宮里34号線、国税庁西側線、松本団地西側線、知花52号線の整備を完了しており、観光誘客の効果が発揮できると考えている。 ・整備後の道路利用者(観光客)への対面アンケートは、新型コロナウイルス感染症の動向を考慮し、感染防止対策を行った上で実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度宮里34号線、国税庁西側線、松本団地西側線、知花52号線の植栽等整備工事を実施し事業完了となっている。 ・整備後の道路利用者(観光客)への対面でのアンケートは、マスクの着用、各アンケート後の筆記用具の消毒等の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行った上で実施を検討する。
今後の取り組み方針		
<p>宮里34号線、国税庁西側線、松本団地西側線、知花52号線の植栽等整備工事をR3年度に完了しており、観光客の誘客効果が期待できると考えていることから、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)について道路利用者(観光客等)へアンケートを行い、本事業のあり方について検証する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

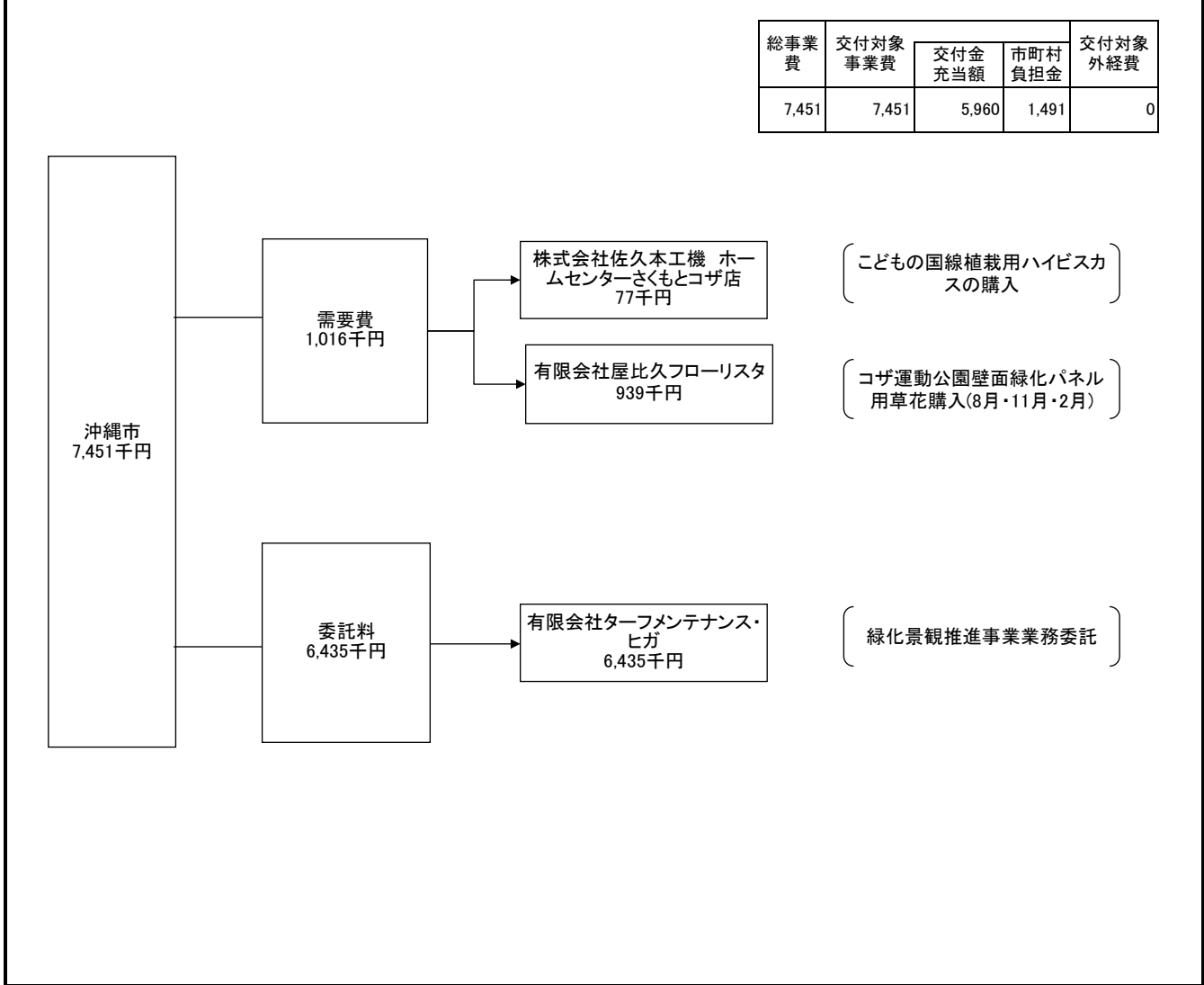


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○契約の相手方は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率は91.7%であり、予算規模は適正と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	緑化景観推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	建設部 公園みどり課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光地周辺道路へ亜熱帯植物の配置、道路に面している公園側の壁面緑化パネルの花の植付を行うことで、沖縄らしい風景を創出し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,107	7,479	8,089	8,550	
			4,107	7,479	8,089	8,550	
			0	0	0	0	
			4,107	7,479	8,089	8,550	
	B. 執行済額		3,771	7,063	7,623	7,451	
	うち交付金充当額		3,019	5,650	6,098	5,960	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		91.8%	94.4%	94.2%	87.1%	
	予算の状況の説明		事業計画どおりに執行しており、不用額は入札残によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(3回)	目標	(3回)	(3回)	(3回)	(3回)	
		実績	3回	3回	3回	3回	
・プランターの設置(70基) ・亜熱帯植物(ハイビスカス)の植栽(140本)	目標	(430本)	(70基 140本)	(70基 140本)	(70基 140本)		
	実績	430本	70基 140本	70基 140本	70基 140本		
達成状況説明	コザ運動公園の壁面緑化パネルに8月、11月、2月の3回季節の草花を植え替えた。こどもの国線へ、ハイビスカスを植栽したコンクリートプランター70基(2本/基)を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		80.10%	81.13%	80.17%	
			目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・アンケートについては、本市の玄関口である沖縄南インターチェンジ前に位置するコザ運動公園において2月に実施をし、集計した結果、目標に達した。 ・R3年度の事業を一部終了したが、R3年度より新たに沖縄アリーナが開館したことにより、引き続き緑化による沖縄らしい景観形成が必要になった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 緑化パネル草花の配置による模様を工夫することで目標を達成できたため、引き続き草花の配置を工夫した模様デザインを継続する。 こどもの国線の延長750mの沿線にR1は250mに70基設置、R2年は250mから500mの間に道路植栽プランターを70基設置し、R3年に残りの250mに植栽プランターを70基設置した。 沖縄アリーナが竣工しコザ運動公園では多くのイベントが開催され、県内外から多くの来街者が訪れつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 花の色によるコントラストを工夫し、花文字や沖縄ならではの模様ミンサ柄など目を引くように草花を配置する。 設置した植栽プランターの維持管理をしながら沖縄らしい景観形成を図る。 沖縄市南インター前の緑化を引き続き行い、コザ運動公園の景観形成を図ることで、各種イベントの機運向上を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 緑化パネルについては、花の色とコントラストを生かした配置を工夫して、引き続き緑化による沖縄らしい景観形成に取り組む。 南インターよりこどもの国までに設置したコンクリートプランターの維持管理をしながら、引き続きハイビスカス植栽による景観形成を目指す。 コザ運動公園ではエイサーまつりやモータースポーツ等様々な催し物を開催し多くの来場者があり、さらに沖縄アリーナも前年度より開館し多くの来街者が予想されるため、引き続きコザ運動公園の緑化による機運向上と沖縄らしい景観形成を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



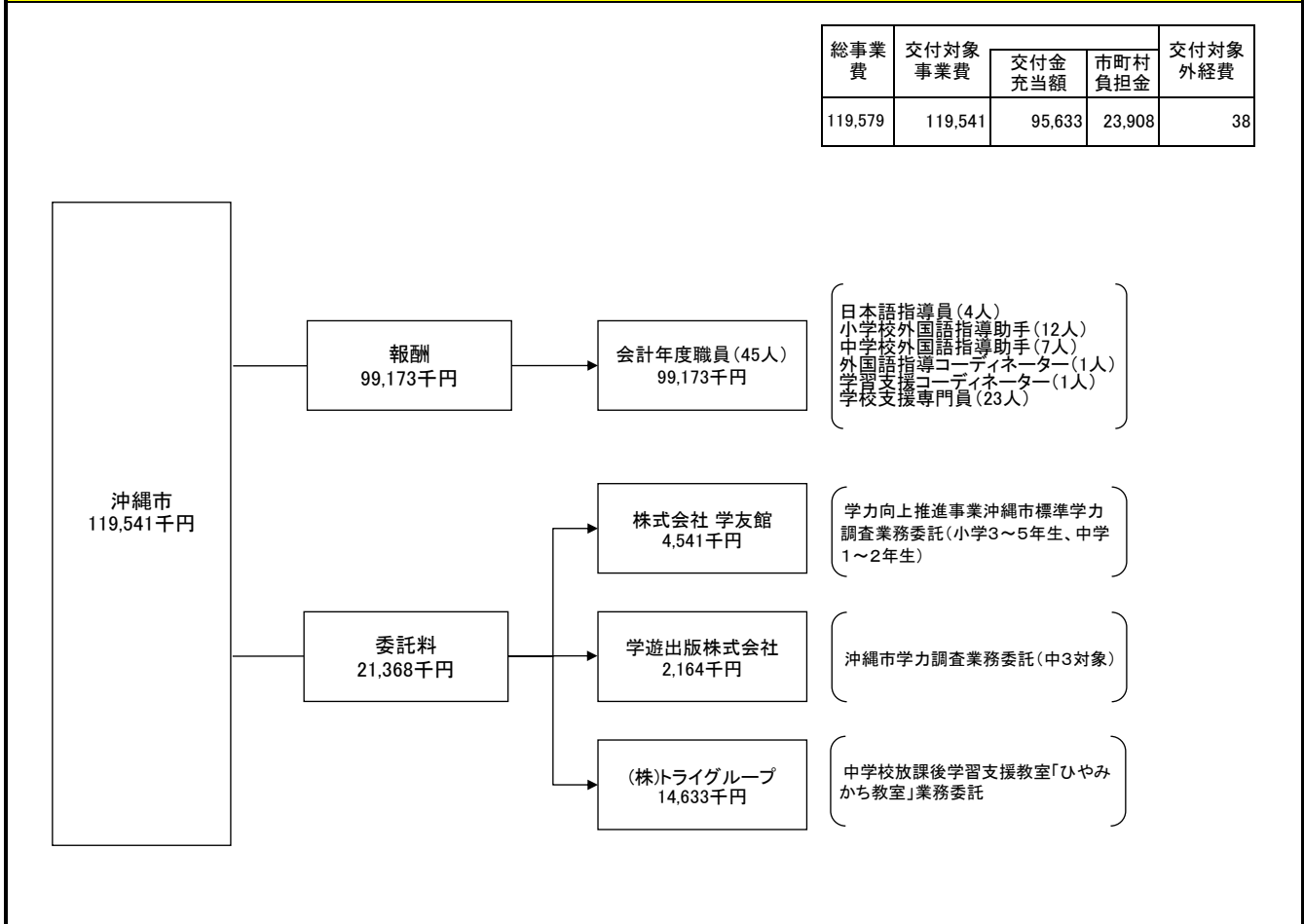
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託者は、指名競争入札により決定しており妥当である。 ○委託業務費の積算については、業者見積り及び土木工事標準積算基準書(公園)を採用し、適正に行っている。 ○費目・用途については、委託業務完了後に支出等に関する書面により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	こども科学力育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(イ)		
担当部署名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを学校で体験する出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,272	21,866	17,680	15,000	14,461	
		(b) 予算現額	25,272	21,866	17,680	15,000	14,461	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額					0	
		A. 計(b+d)	25,272	21,866	17,680	15,000	14,461	
	B. 執行済額		20892	18174	17,680	15,000	14,461	
	うち交付金充当額		16713	14538	14,144	12,000	11,568	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		82.7%	83.1%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算は計画通りに執行された。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	【R3は③、④を実施】 ①科学イベント開催(3回) ②科学ワークショップ開催(30回) ③出前科学教室(100コマ) ④科学研究支援(6校)		目標 (①3回 ②30回 ③100コマ ④6校)	(①3回 ②30回 ③120コマ ④6校)	(①1回 ③96コマ ④6校)	(③100コマ ④6校)		
	達成状況説明		実績 ①6回 ②30回 ③129コマ ④6校	①3回 ②38回 ③216コマ ④6校	①0回 ③195コマ ④6校	③193コマ ④5校		
達成状況説明		・出前科学教室は、6月に学校の臨時休業があり、事業開始が遅れる中、学校への周知活動や日程調整を細かく行い、目標を達成することができた。 ・科学研究支援は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策で学校がクラブ活動を少なくする学校や、または活動停止する学校があったため、目標を達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケート)		目標	()	(95%以上)	(95%以上)	(94%以上)	()
			実績		97%	97%	97.8%	
			目標	()	()	()	()	()
実績								
進捗状況説明		昨年度の事業実施後に必ず振り返りを行い、内容を改善していったことで、参加者が分かりやすく楽しめるプログラムを提供することができた。						

市町村名		沖縄市							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	4-②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-(ア)				
担当部署名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)				
事業内容	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等の配置や放課後学習支援の実施により、きめ細やかな指導の充実に取り組む。								
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()								
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	163,582	161,264	162,958	133,097	128,008		
		(b) 予算現額	160,051	161,264	162,958	131,221	124,775		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,531	0	0	▲ 1,876	▲ 3,233		
		(d) 繰越額	0	0	0		0		
		A. 計(b+d)	160,051	161,264	162,958	131,221	124,775		
	B. 執行済額		150,194	144,510	148,962	125,520	119,541		
	うち交付金充当額		120,154	115,607	119,169	100,416	95,633		
	次年度繰越額		0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		93.8%	89.6%	91.4%	95.7%	95.8%		
予算の状況の説明		概ね計画どおりに執行されているが、会計年度任用職員の療養休暇や配置に至らなかったことによる不用額等があった。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況						
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	①日本語指導員の配置(人) ②外国語指導助手の配置(人) ③学習支援員の配置(人) ④学校支援専門員の配置(R2以降無し) ⑤学習支援コーディネーター(人) ⑥外国語指導コーディネーター(人) ⑦外国語クラブ活動(R2以降無し) ⑧研修会の開催(回) ⑨学力調査(回) ⑩中学校放課後学習支援教室(校)	目標	(① 4 ② 25 ③ 24 ④ 5 ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ 10 ⑧ 開催 ⑨ 1 ⑩ 8)	(① 4 ② 25 ③ 24 ④ 5 ⑤ 1 ⑥ 6 ⑦ 10 ⑧ 3 ⑨ 1 ⑩ 8)	(① 4 ② 19 ③ 20 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ 9 ⑧ 3 ⑨ 1 ⑩ 8)	(① 4 ② 19 ③ 23 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ - ⑧ 3 ⑨ 1 ⑩ 8)			
		実績	(① 4 ② 25 ③ 23 ④ 5 ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ 8 ⑧ 3 ⑨ 1 ⑩ 8)	(① 4 ② 25 ③ 22 ④ 5 ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ 9 ⑧ 3 ⑨ 1 ⑩ 9)	(① 4 ② 19 ③ 20 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ 7 ⑧ 3 ⑨ 1 ⑩ 8)	(① 4 ② 19 ③ 23 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ - ⑧ 2 ⑨ 1 ⑩ 8)			
		達成状況説明	目標に達しなかった指標も一部あったが、概ね目標を達成することができた。研修会については、新型コロナウイルス感染症が広がり、各学校での感染症対策を優先して研修会は中止としたため、目標を達成できなかった。						
		成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
			①沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校:県との差±1ポイント以内	目標	()	(小学校 0ポイント以上)	(小学校 0ポイント以上)	(±1ポイント以内)	()
				実績		県との差 +0.9ポイント	県との差 -0.8ポイント	-0.7ポイント	
			②沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 中学校:県との差±0ポイント以内	目標	()	(中学校 -2ポイント以内)	(中学校 -2ポイント以内)	(±0ポイント以内)	()
		実績			県との差 -2.2ポイント	県との差 -1.4ポイント	-1.7ポイント		
進捗状況説明		①正答率の低い問題は県と同じ傾向にあるが、その問題の無解答率は県よりも高く記述式の問題など最後まで解答することができていないものの、県との差が-0.7ポイントとなり、目標を達成できた。 ②県との差が一番大きい数学で、条件を整理して自分の言葉で説明する力が十分に身につけていないことなどにより、県との差が-1.7ポイントとなり目標を達成できなかった。							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	①中学校放課後学習支援教室は、放課後は部活動があり年間を通して参加する生徒が少なくなってきた。また、無償ということもあり簡単に欠席する生徒もいる。 ②各種学力調査の結果より、小中学校において基礎的な知識・技能の習得と問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力に課題がある。 ③学習支援員と学校との連携がうまくいかず、効果的な学習支援を実施することができなかった学校がある。 ④教師主導による授業が見受けられる。 ⑤各学年の学習内容の着実な定着を図っていくことが求められる。	①中学校放課後学習支援教室への主体的に参加する生徒を増やすため、通常の授業と連動した補習や家庭学習の提示など学校職員と連携を密にする必要がある。 ②各種研修会で文科省や県、市の学力向上推進施策を説明し、市の学力の課題を共有し日常的な授業改善につながる取組を参加者同士で協議する必要がある。 ③学級担任や教科担任との連携を確実にし、授業中の支援の仕方や支援する児童生徒の確認などの打ち合わせをする時間を確保できるようにする。 ④教師による知識の伝達から児童生徒の気づきを大切に授業への改善が必要がある。 ⑤各種学力調査で得られた課題と、その改善策を全校体制で共通認識したことを、日々の授業改善で生かしていく必要がある。	
	今後の取り組み方針		
①放課後よりも授業時間内での支援のニーズがあるため、放課後以外の授業時間内での学習支援を充実させ、基本的な知識技能の習得を図る。 ②各種学力調査結果を各中学校ブロック毎に課題を共有し、解決策を各種研修会で協議するとともに、協議した解決策を小中連携を推進して実践し、授業改善の連携の質を高める。 ③学習支援員と教師との連携についての全体研修や各校での支援の様子を様子の参観する個人研修を通して、学習支援員の児童生徒への支援と教師とのコミュニケーションの質を高める。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度職員は公募により選定した。 ○委託費については、公募型プロポーザル方式により選定しており、目的に即し適正なものとなっている。 ○報酬については、市の規程に基づく単価により積算した。 ○費目・使途は事業目的に即しており、必要なものに限定されているかを確認した上で、支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

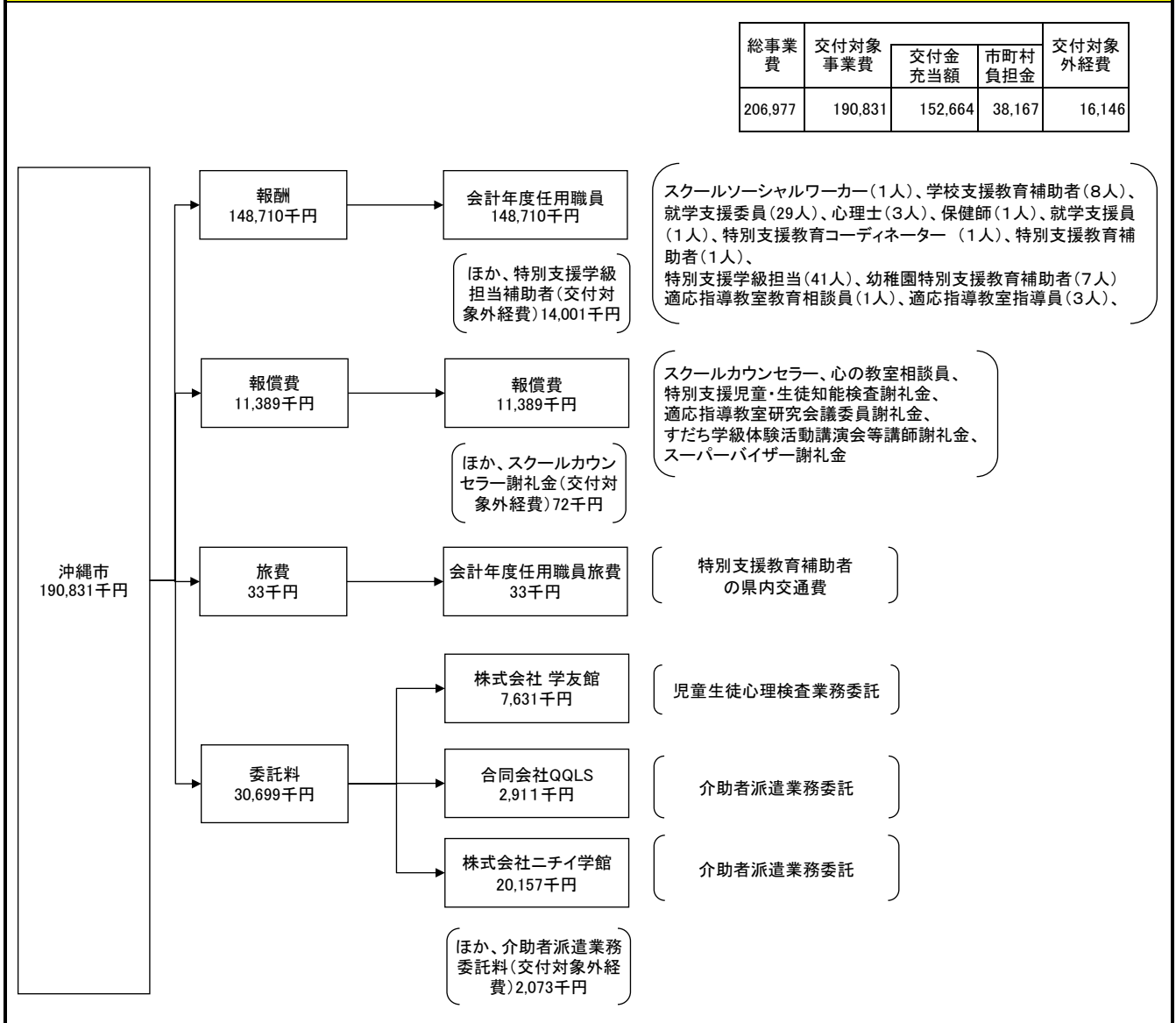
市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	気になる子等の学びを支援する事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
	担当部署名	指導部 指導課 指導部 市立教育研究所 こどものまち推進部 保育幼稚園課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	特別な支援を要する園児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行うことで、不登校の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	247,736	271,228	227,021	225,871	249,190
	(b) 予算現額	226,537	211,060	227,021	213,208	202,143	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 21,199	▲ 60,168	0	▲ 12,663	▲ 47,047	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	226,537	211,060	227,021	213,208	202,143	
	B. 執行済額	197,869	191,619	168,961	200,701	190,831	
	うち交付金充当額	158,294	153,295	135,168	160,561	152,664	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	87.3%	90.8%	74.4%	94.1%	94.4%	
予算の状況の説明		不用額(11,312千円)は、学校支援教育補助者の未配置に伴う人件費の減や会計年度任用職員について想定と採用時の保有資格で報酬月額差額が生じたことによる減額、幼稚園における幼稚園特別支援担当等の当初配置予定人員数を確保できなかったことが主な理由である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①就学支援委員(30名) ②臨床心理士(1名) ③認定心理士(2名) ④保健師(1名) ⑤就学支援事務(1名) ⑥特別支援教育コーディネーター(1名) ⑦特別支援教育補助者(31名) ⑧スクールソーシャルワーカー(1名) ⑨学校支援教育補助者(8名) ⑩適応指導教室教育相談員(1名) ⑪適応指導教室指導員(3名) ⑫適応指導教室巡回支援指導員(3名) ⑬幼稚園特別支援担当42人(補助者含む) ⑭幼稚園特別支援教育補助者7人 ⑮幼稚園特別支援アドバイザー【臨床心理士】1名		目標 ①-人②3人 ④1人⑥1人 ⑦38人⑧1人 (⑨16人) ⑩2人⑪2人 ⑫4人⑬36人 ⑭18人	①-人②3人 ④1人⑥1人 ⑦33人⑧1人 (⑨10人) ⑩2人⑪2人 ⑫4人⑬36人 ⑭7人⑮1人	①30人②3人 ④1人⑥1人 ⑦24人⑧1人 (⑨5人) ⑩1人⑪3人 ⑫3人⑬36人 ⑭7人⑮1人	①30人②1人 ④1人⑥1人 ⑦31人⑧1人 (⑨8人) ⑩1人⑪3人 ⑫3人⑬42人 ⑭7人⑮1人	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ①②④⑥⑦⑧⑨は概ね目標を達成することができた。 ⑩教育相談員、⑪適応指導教室指導員、⑫巡回支援指導員を予定どおり配置できた。 ⑬、⑭幼稚園特別支援担当等については、年度当初は、HPやハローワークへの求人、市主催の合同就職説明会の開催等、求人活動の成果もあり園児の特性に対応した体制づくりが概ね達成できた。 ⑮幼稚園特別支援教育アドバイザー(心理士)については、今年度も応募者がなく配置することは出来なかったが、年度末に令和4年4月1日からの勤務希望者を採用することができたことから、次年度に繋がる体制作りができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	目標	()	(80%以上)	(70%以上)	(80%以上)	()
		実績		75.8%	83.1%	99%	
	不登校児童生徒登校復帰率 26%以上	目標	()	(15%以上)	(21%以上)	(26%以上)	()
実績			37%	22.50%	18%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園において、発達の状況に応じた教育の実施状況について、保護者アンケートを行い、全園平均で99%の保護者が満足している結果となり、目標を達成した。 小中学校の特別支援教育において、個々の状態に応じた対応を行うことができた。 不登校児童生徒登校復帰率において、前年度より小中学校とも不登校数の増加が見られ、累計で30日未満の欠席者も増加した。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒については、不登校の理由が多様化し、不登校の要因として、家庭に係わる状況も大きく、対応が複雑化している。 就学支援委員から、「就学支援判定において、判定する上で統一した基準が必要である。」という声が聞かれた。 就学支援委員(29人)のうち、10名が小学校教諭であり、全体のバランスに偏りが見られる。 幼稚園の特別支援については、令和4年度は令和3年度に比べ、特別支援児の人数は減少となるものの、ダウン症の園児や突発的な飛び出しがある園児等、一対一の対応が必要な園児が複数名入園するため、職員一人一人の資質向上に加え職員同士の連携がより一層必要となる。 適応指導については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による休校などにより、対面による支援ができないことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒の支援の充実のため、連続3日以上欠席や累計5日以上児童生徒に対し、早期対応を行い、新規の不登校を生まないよう組織的・段階的な支援を検討したい。 就学支援委員会については、年度計画の中に委員説明会を位置づけ、研修と共にそれぞれの立場からの意見交流を行う場を設けることを検討したい。 また、各種専門性を有する方に依頼し、全体のバランスを考えた人選を行う必要がある。 関連部署や指導主事と連携し、幼稚園の後方支援を行うとともに幼稚園特別支援教育アドバイザー(心理士)の配置を行い、教育内容や支援内容の向上を図る。 適応指導について、ICTを活用した支援方法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- 学校支援教育補助者、スクールカウンセラー、心の教室相談員、その他、関係機関と支援の連携を深め、不登校児童生徒に対し多様なアプローチを図る。また、登校復帰だけを目標とせず、社会的自立も見据えた支援の在り方を検討する。
- 就学支援判定に向けた、判定基準を統一したものになるよう就学支援委員への説明会を行い、その中で意見交流の場を設けて、関係者間で判定に関する認識を深める。
- 様々な専門性をもった立場から判定していただくという視点から、言語の専門家、中学校の特別支援コーディネーター、県立特別支援学校から各1名増員する。
- 令和4年度は当初から幼稚園特別支援教育アドバイザー(心理士)を配置し、アドバイザーによる定期的な訪問や相談依頼の受け付け、個別指導計画策定に関するアドバイス、指導方法のアドバイス等に取り組むことで、職員や園へのサポート体制を充実し、職員一人一人の資質向上、園全体の教育力向上に繋げる。
- 適応指導について、タブレットPCを活用した支援など学習機会の確保を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

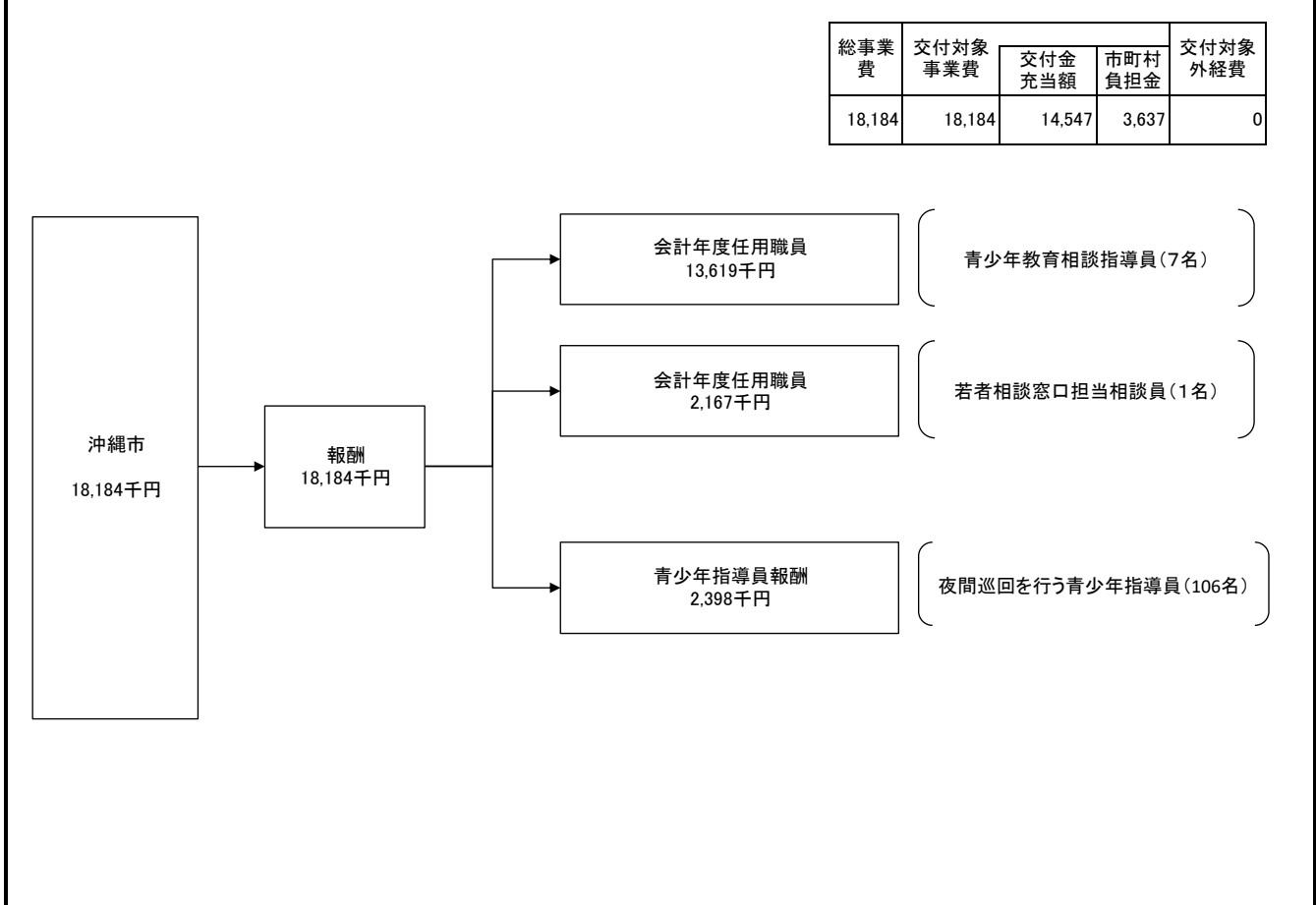


資金の流 れ、費 用 目 録	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は入札あるいは公募型プロポーザル方式により決定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は94.4%となり、予算規模は目的に即し適正なものとなっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途は、気になる子への支援に要する人件費や心理検査業務委託料など、事業目的に即し真に必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	4-④		青少年等支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-ウ						
	担当部署名	指導部 青少年センター		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・若者の育成支援					
事業内容		<p>青少年の健全育成を図るため、青少年指導員による夜間の街頭指導や青少年教育相談指導員による教育相談や登下校の巡回指導、各種体験活動を行った。また、若者相談窓口担当相談員を設置し、困難を有する若者の自立や非行に関して悩みを抱えている家族や本人等に対し、相談支援を行った。</p>					Ⅲ-3-(1)					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a)当初予算額	27,529	27,738	25,438	23,306	23,436	(b)予算現額	27,529	27,738	25,438	20,820
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	▲2,486	▲1,680	(d)繰越額					
	A.計(b+d)	27,529	27,738	25,438	20,820	21,756	B.執行済額	26,269	25,091	23,746	19,633	18,184
	うち交付金充当額	21,015	20,072	18,997	15,706	14,547	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	95.4%	90.5%	93.3%	94.3%	83.6%	予算の状況の説明	<p>予算現額については、コロナウィルス蔓延防止のため、5~9月分青少年指導員の夜間巡回が中止となったことにより減額となった。</p>				
	活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況								
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					
		青少年教育相談指導員配置 7名		目標 (8名)	(8名)	(7名)	(7名)					
				実績	8名	8名	7名	7名				
青少年指導員配置 述べ1,280人		目標 (2,417人)	(1,760人)	(1,120人)	(1,280人)							
		実績	3,339人	2,346人	905人	817人						
若者相談窓口担当相談員配置 嘱託職員1名		目標 (1名)	(2名)	(1名)	(1名)							
		実績	1名	1名	1名	1名						
達成状況説明	<p>青少年教育相談指導員については、7名の配置ができた。青少年指導員の配置については、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が発令されていた5~9月を中心に夜間街頭指導が中止になる日が多かったため、目標1,280名を達成することができなかった。若者相談窓口担当相談員については、目標どおり1名を配置することができた。</p>											
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)					
	午前・午後巡回指導件数 前年度比39.4%減		目標 ()	(27.2%減)	(22.75%減)	(39.4%減)	()					
			実績	48.6%減	9%増	73%増						
	夜間・合同街頭指導件数 前年度比 3.6%減		目標 ()	(9.8%減)	(9.4%減)	(3.6%減)	()					
			実績	29%減	51%減	49%減						
	若者の主訴改善件数 20件以上		目標 ()	(25%増)	(11件以上)	(20件以上)	()					
		実績	88%増	25件	25件							
進捗状況説明	<p>・午前・午後巡回指導件数は、前年比73%増となり、目標を達成できなかった。 ・夜間・合同街頭指導件数は、前年比49%減となり、目標を達成できた。 ・若者の主訴改善件数は、25件となり、目標を達成した。</p>											

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・午前・午後巡回指導件数は、前年60件から104件と44件の増加となった。(前年度は、緊急事態宣言に伴う休校や外出自粛の影響により指導件数が少なかった。) ・夜間・合同街頭指導件数は、前年比49%減となった。夜間街頭指導は、コロナウィルス蔓延防止のため、実施回数が減少したためと考えられる。 ・若者の主訴改善件数は、25件と前年度と同件数である。年々、相談件数は増えており、若者相談窓口の相談体制を強化していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前・午後の巡回については、学校や地域、警察等と連携し、継続的に実施する必要がある。 ・夜間・合同街頭指導件数は減少してはいるが、単純に青少年の深夜徘徊が減った訳ではないと考えられるので、継続して夜間街頭指導巡回を行っていく必要がある。 ・巡回指導や家庭訪問だけではなく、体験活動を通した取り組みの強化が必要である。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・午前・午後巡回を継続して行うとともに、青少年教育相談指導員が対応する児童生徒に対して、家庭訪問での登校促しや、青少年センターでの体験活動の実施等の回数を増やし、不登校児童生徒の減少をめざす。 ・地域・学校・行政が連携し、夜間街頭指導巡回により、深夜徘徊の危険に対し、地域の見守りがあることを意識づけする予防的な巡回を確実に実施していく。 ・若者相談窓口については、相談内容が複雑化・多様化しているため、担当相談員の増員や相談員の研修の機会を増やすとともに、関連する他機関との連携を強化していく必要がある。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



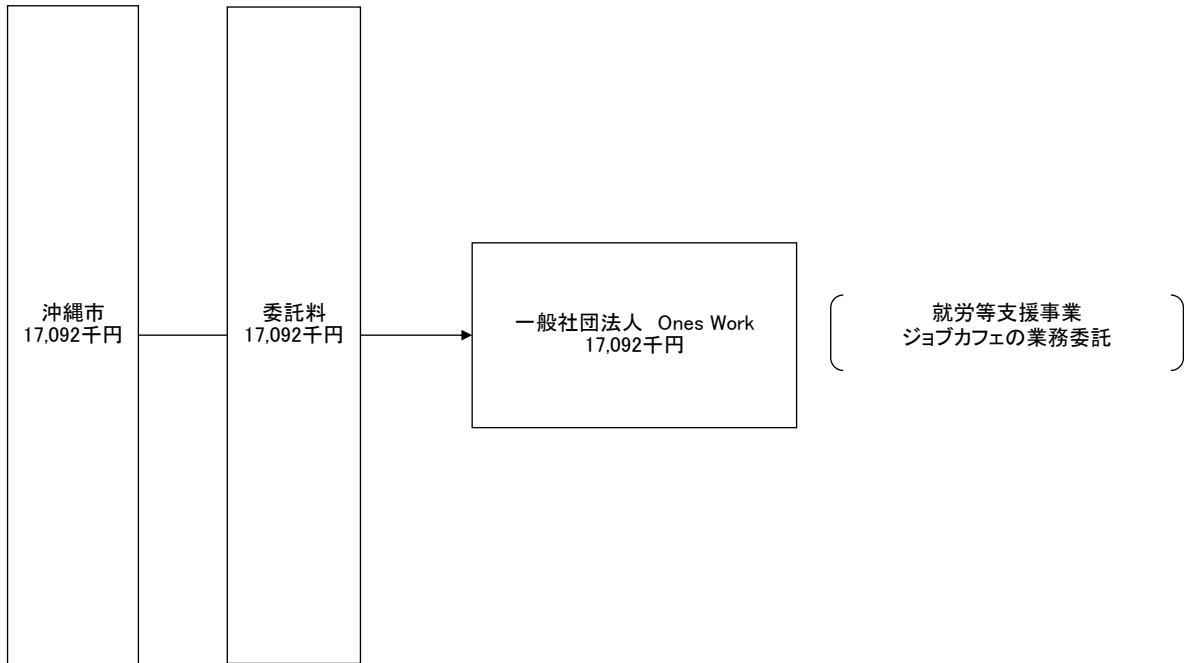
資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○青少年指導員は、市内小中学校や各自治会からの推薦を基に委嘱しており、適切に選定している。 ○報酬は市の規程に基づく単価となっており、予算規模は事業内容に見合った適正なものとなっている。 ○費目・用途については、事業内容を達成するために必要なものであり、活動状況に応じた必要最小限の支出となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	就労等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
	担当部署名	経済文化部 企業誘致課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 Ⅲ-2	
事業内容	若年者や子育て世代等、個々に応じた就労相談や各種講座等の実施、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	51,550	37,413	37,976	29,983	19,000
	(b) 予算現額	51,719	37,413	37,976	29,983	19,000	
	(c) 増減額(b-a)	169	0	0	0	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	51,719	37,413	37,976	29,983	19,000	
	B. 執行済額	48,894	36,924	36,674	25,130	17,092	
	うち交付金充当額	39,114	29,537	29,338	20,103	13,673	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.5%	98.7%	96.6%	83.8%	90.0%	
予算の状況の説明	本事業は年間を通じて業務委託を行っており、不用額の発生理由は、入札残額及び概算契約の精算による残額であり、当初計画していた事業内容を適切に実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	就労相談	目標	(2,000人)	(2,000人)	(2,500人)	(3,000人)	
		実績	3,258人	3,860人	4,965人	7,448人	
	職場体験	目標	(35件)	(35件)	(35件)	(35件)	
		実績	51件	51件	43件	27件	
	学校における職業人講話、マナー講座等の実施(8校)	目標	(8校)	(8校)	()	()	
実績		10校	実施				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・就労相談について目標数値3,000人に対し、実績数7,448人と目標を大きく上回った。これは、従来の対面による面談以外にも、メール相談やオンライン面談(ZOOM)、LINEでの対応が増えたことが主な要因である。 ・職場体験については、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験希望者の受け入れを取りやめた企業が多かったため、目標値には届かなかった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	就職決定者割合22%	目標	()	(46.8%)	(22.7%)	(22%)	()
		実績		51.7%	15.2%	26.6%	
	参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		96%	94%	100%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・就職決定者割合について、コロナ禍の中ではあったが、きめ細やかな就労相談を実施したことにより目標値22%を上回ることができた。 ・職業理解が深まったかについては、アンケートで目標を達成しており、職場体験後に面接を経て採用決定になるなど、参加者の職業理解が深まったことにより、就職決定に繋げることができた。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と比較するとコロナ禍ではあるが、有効求人倍率が改善傾向にある。しかし業種によっては人手不足が課題となっており、雇用のミスマッチが生じていた。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、共有スペース(PC利用、託児等)の閉鎖時期もあり、通常行っていた対面での支援が難しくなっていたが、必要に応じて電話、ウェブを活用し支援を行った結果、就労相談件数及び就職決定者の増加に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足の業種については、職場体験や企業説明会を通し、業務内容や施設、環境などについて、実際に働いている職員の話の聞いたり、職場見学の機会を設けるなど、引き続き求職者の職業理解を促す取り組みが必要である。 求職者を就職決定に繋げるため、求職者に対し、一人ひとりに合ったきめ細やかな就労支援が求められる。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 就業支援に専門的な知見、実績がある民間事業者に委託を行い、一人ひとりに応じたきめ細やかな就労相談体制を構築する。また、企業や関連機関と連携を図り、職場体験支援や企業説明会を実施するなどして、求職者の就職決定に繋げるよう取り組む。 事業所訪問やSNS等を活用した周知啓発活動の取組を推進することにより、新規利用者の獲得につなげる。 雇用情勢や企業のニーズに応じたセミナー等を開催し、企業に対して雇用に関して活用できる制度等の周知及び助言等を行なう。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
17,092	17,092	13,673	3,419	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は経験、知識を特に必要とする特定の者でなければ履行できないため、企画提案プロポーザルにより企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定、随意契約を行っており、該当であったと考えている。 ○予算規模は、事前に業者からの見積書を聴取し内容を精査しており、適正であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	産業集積推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(5)-ア		
担当部署名	経済文化部 企業誘致課	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	リーディング産業を担う人材の育成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	質の高い雇用の創出や市民所得の向上及び中心市街地の活性化を図るため、中心市街地商店街内の空き店舗を活用して拠点施設を設置し、創業相談窓口の設置やICT人材の育成等の取組を一体的に推進する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	39,703	29,000			
		(b) 予算現額	39,703	29,000			
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	39,703	29,000	0	0	
		B. 執行済額	32,923	25,066			
		うち交付金充当額	26,338	20,052			
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	82.9%	86.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	本事業は、年間を通じて業務委託を行っており、入札残額及び概算契約の精算による残額となっている。主な残額の内訳としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、執行できなかった旅費や講師謝金である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度			
	創業支援による創業支援件数 (創業相談件数)	目標	(400件)	(400件)	()	()	
		実績	448件	321件			
本事業で育成された人材等の就業件数 (プログラミングスクールの開催)	目標	(3回)	()	()	()		
	実績	3回					
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、対面相談が実施できない期間があり、相談件数は減少した。(年間相談実績:321件)また、スタートアップに関するセミナー、イベントを開催することで、創業、就業に必要な情報提供、周知活動を行った。(開催実績72件、うちオンライン開催14件) ※【参考】令和3年度より、プログラミングスクールを民営化。卒業生と誘致企業のマッチング等の就業支援をおこなっている。(卒業生15名を支援。)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	創業支援者数	目標	()	(54件)	(54件)	()	()
		実績		66件	121件		
	就業件数	目標	()	(42件)	()	()	()
実績			14件				
進捗状況説明	・創業支援者数は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、対面相談が実施できない中、オンラインによる相談を実施。過去のオンラインイベント動画を整理しアーカイブ動画を充実させ、事前に相談者に視聴いただくことで、目標値を超える実績を上げることができた。 ・今年度は特にワーケーションをきっかけにコザに滞在したフリーランスやテレワーク出社が可能な人材が、拠点のひとつとして活用したことにより、Lagoon やシェアオフィス利用が増加したとともに、起業に結びつく事例があった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(創業支援者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、相談予約をウェブサイトで受付することで事前に内容をある程度把握し、オンラインでの相談も受け付ける体制の構築など効率化を行った結果、相談者が増加し、創業支援者数も増加したと考えられる。 これまでの取り組みにより、比較的若い人材、若い企業が集う拠点を形成できたが、事業を実施する中で、新型コロナウイルス感染症に伴う社会情勢の変化により、既存産業の再編を支援する必要性や、テレワークを活用した場所にとられない、多様な働き方を推進する必要が出てきた。 事業の目的は創業支援であるが、創業後の伴走支援(経営の安定化支援)が次なる課題として挙げられる。 	<p>(創業支援者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対面形式での個別相談では、支援者数に限りがあるため、効率的な支援方法を検討する必要がある。 質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図るため、市内における新たな産業(スタートアップ)の集積を推進する取り組みを検討する必要がある。

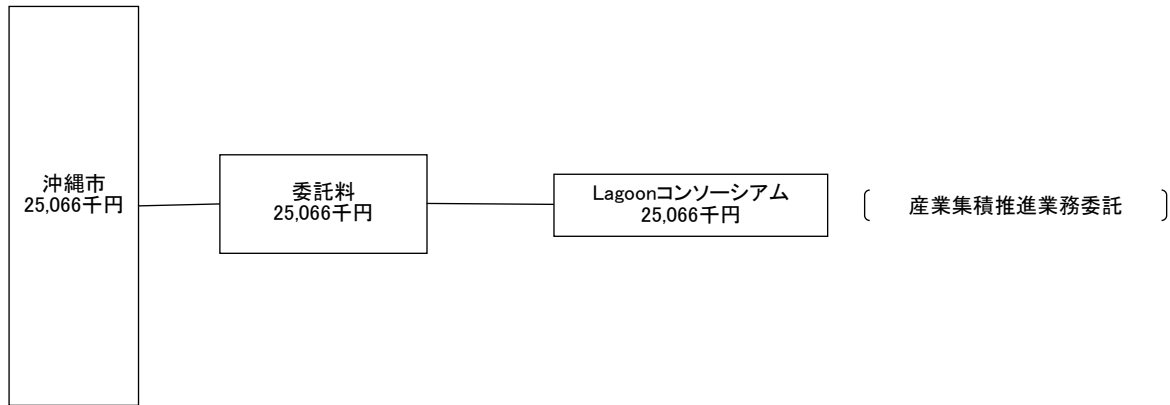
今後の取り組み方針

(創業支援者数)

- 個別相談に加えて、セミナー方式で創業支援を行うことにより、支援者数を増加させる。
- スタートアップ起業家支援、育成に集中的に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
25,066	25,066	20,052	5,014	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画提案公募により選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い執行できなかった講師謝金や旅費等であり、適正な規模で執行した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③	防災拠点体制整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当課名	企画部 プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、広域避難場所であるコザ運動公園において避難所及び災害対策本部等の機能を有する防災拠点としての体制を整備する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和4年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	500,328		114,074		
		(b)予算現額	500,328		22,486		
		(c)増減額(b-a)	0		▲91,588	0	0
		(d)繰越額	0	4,957	0		
		A.計(b+d)	500,328	4,957	22,486	0	0
	B.執行済額		460,834	4,957	22,486		
	うち交付金充当額		360,032	3,871	17,988		
	次年度繰越額		4,957	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.1%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初、114,074千円の備品整備を予定していたが、施設管理の観点から必要備品を精査し、91,588千円減額した結果、執行率は100%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	備品整備の実施	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	備品整備を計画どおり実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	備品整備の完了	目標	()	(完了)	(完了)	()	()
		実績	/	完了	完了		/
	【参考指標】 整備した備品を活用した防災活動(1回以上/年、防災訓練含む)の実施	目標	()	()	()	()	(1回以上)
		実績	/	/	/		/
進捗状況説明	備品整備を計画どおり完了することができた。						

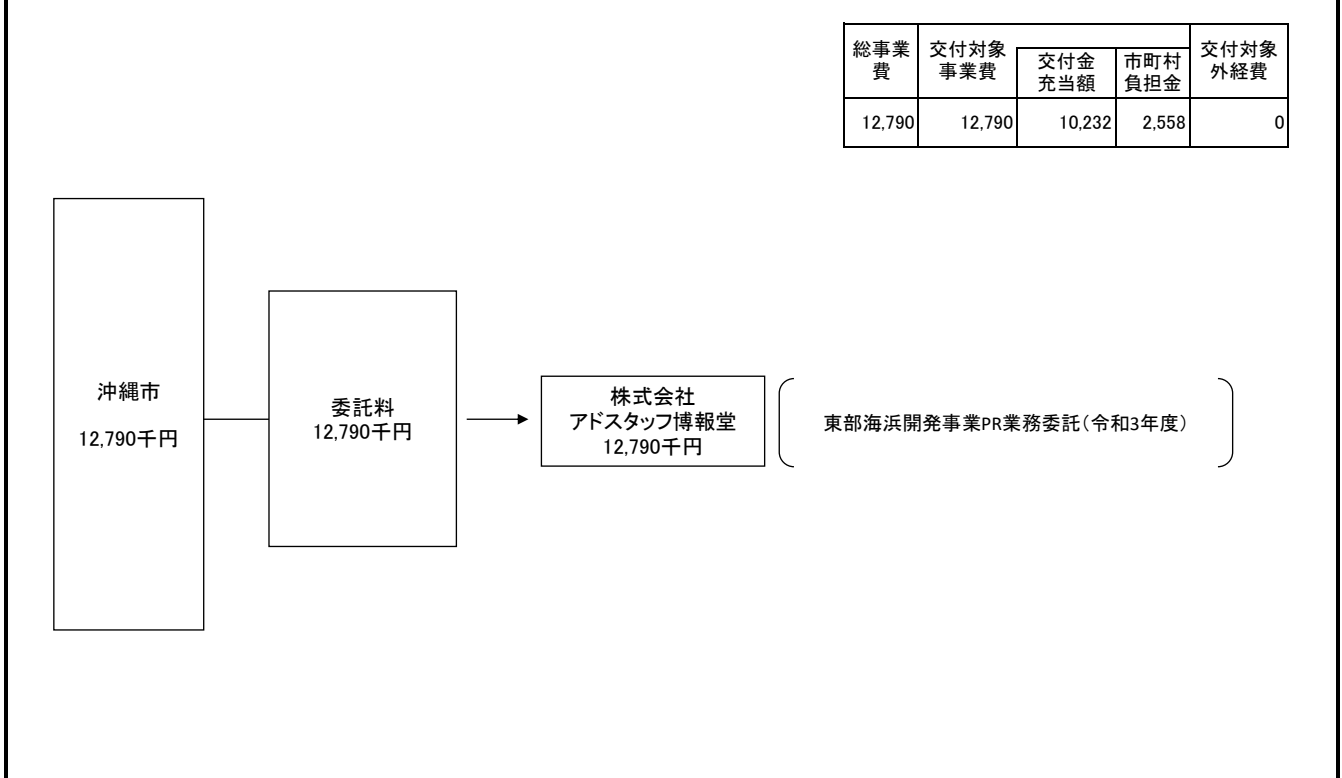
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 備品整備が完了し、今後は、防災拠点としての適切な運営が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に、防災拠点として適切に運営するため、定期的に防災訓練等を実施する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 年に1回以上防災訓練等を実施し、災害時に適切な対応ができるよう取り組む。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	22,486	22,486	17,988	4,498	0
<pre> graph LR A[沖縄市 22,486千円] --> B[備品購入費 22,486千円] B --> C[株式会社サンコー 4,526千円] B --> D[株式会社オキジム 中部支店 9,391千円] B --> E[有限会社よろこび電化 8,569千円] C --- C1[ファニチャー備品の購入] D --- D1[ファニチャー備品の購入] E --- E1[厨房備品の購入] </pre>					
資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明		
資金の用途の点検・費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、入札により選定しており、妥当であったと考えている。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は100%であり、予算規模は適正と考えている。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	東部海浜地区開発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
	担当部署名	建設部 東部海浜開発局 計画調整課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特性を生かした産業の振興	
事業内容	東部海浜開発事業について、市民や県民等に対する事業PRに取り組み、認知度の向上を図る。また、東部海浜開発地区への企業誘致を図るため、県外企業への事業を周知等図るための企業ヒヤリングを実施する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R11年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	36,425	12,338	21,475	14,462	14,462
	(b)予算現額	36,425	21,302	21,475	0	14,462	
	(c)増減額(b-a)	0	8,964	0	▲14,462	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	36,425	21,302	21,475	0	14,462	
	B.執行済額	35,338	19,795	21,220	0	12,790	
	うち交付金充当額	28,270	15,835	16,976	0	10,232	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.0%	92.9%	98.8%	-	88.4%	
予算の状況の説明	計画した内容については、すべて実施した。残額の内訳としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、執行できなかった旅費となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①事業PRの実施	目標	(イベント実施5回)	(イベント実施3回)	(-)	(事業PR実施)	
		実績	イベント実施5回	イベント実施3回	-	事業PR実施	
	②県外企業プレゼン及びヒヤリング	目標	(5回)	(6回)	(-)	(6回)	
		実績	5回	8回	-	0回	
長期滞在型観光地形成調査及び企業誘致PR動画制作	目標	()	(2件)	()	()		
	実績		2件				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 東部海浜開発事業のPRとして、テレビでの特集番組放送や県内新聞2紙への広告記事掲載、事業PR専用のホームページ制作を実施した。 東部海浜開発地区の企業誘致として、県外企業への事業を周知等図るため、企業ヒヤリングを予定していたが、全国的な新型コロナウイルス感染症の影響により実施は困難となった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R11年度)
	事業の認知度	目標	()	(55%以上) ※イベント参加者対象	(-)	(60%以上) ※イベント参加者対象	()
		実績		52.4% ※イベント参加者対象	-	72.6% ※WEBアンケート	
	公募条件整理に向けたヒヤリングを実施(回数)	目標	()	(-)	(-)	(9回[35社])	()
		実績		-	-	0回	
	【参考指標】 企業誘致件数 1件	目標	()	()	()	()	(1件)
実績							
進捗状況説明	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで行っていた人工島内のビーチを活用してのイベントを実施できなかったため、事業認知度アンケートはWEBで実施しており、対象者がこれまでと異なるところではあるが、事業の認知度は72.6%(20.2%増)であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(事業の認知度) 目標値を12.6%上回る結果となった。これまでとアンケートの対象者が異なっているものではあるが、認知度は向上していると考えられる。</p> <p>(企業の誘致) 新型コロナウイルス感染症の影響により対面による企業ヒアリングの実施が困難となった。 企業からの意見としては、全体的な開発を見据えた計画が必要であるため、全体事業の実施時期等の情報提供が必要である。</p>	<p>(事業の認知度) 東部海浜開発事業の認知度を高めるため、引き続きPRイベントの実施や地域と連携を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも事業PRが実施できるよう検討していくことが必要である。</p> <p>(企業の誘致) 新型コロナウイルス感染症の影響により対面による企業ヒアリングの実施が困難となったため、WEB等を活用したヒアリング手法の検討が必要である。 また、企業進出計画に係る本事業の情報提供について関係機関と調整する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>(事業の認知度) 市民、県民等に向けた事業PRについては、引き続き人工島のピーチを活用したイベント等と連携して取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも事業PRが実施できるよう検討していく。</p> <p>(企業の誘致) 企業誘致については、新型コロナウイルス感染症の影響による企業進出計画等の動向を把握した上で、効果的な企業ヒアリングを実施する。 また、関係機関への企業の進出計画に係る情報提供により誘致促進を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い執行できなかった旅費であり、適正な規模で執行した。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	平和推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-4-(2)-ウ		
担当部署名	市民部 平和・男女共同課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際協力・貢献活動の促進		
事業内容	沖縄戦の体験や教訓を次世代へ継承し、すべての人が等しく平和で豊かな生活が送れるまちづくりを進めるため、イベント開催や平和学習資料の作成を通して、内外に平和行政の取り組みを発信する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	21,137	10,248	10,838	11,197	
		(b)予算現額	21,137	10,268	7,783	11,197	
		(c)増減額(b-a)	0	20	▲3,055	0	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	21,137	10,268	7,783	11,197	0
		B.執行済額	19,892	10,268	7,783	9,957	
		うち交付金充当額	15,913	8,214	6,225	7,965	
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	94.1%	100.0%	100.0%	88.9%	#DIV/0!
	予算の状況の説明	市のホームページがリニューアルすることになったため、当初予定していた平和和学習コンテンツサイトの更新を中止したため、1,240千円が不用となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	9月7日沖縄市民平和の日記念行事イベント開催	目標	(8 校)	(8 校)	(8 回)	(1 回)	
		実績	8 校	8 校	8 回	1 回	
	平和大使活用イベント開催	目標	(1回)	(1回)	()	()	
		実績	1回	1回			
	沖縄市平和事業推進アクションプラン(改訂計画)策定	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	策定				
	デジタル紙芝居製作	目標	()	()	(1 本)	()	
		実績			1 本		
平和学習資料の作成	目標	()	()	()	(1 本)		
	実績				1 本		
平和学習コンテンツサイトの更新	目標	()	()	()	(中止)		
	実績				中止		
	達成状況説明	9月7日沖縄市民平和の日記念行事では、オンラインによる配信を行った。また、平和学習資料を作成した。本市のホームページがリニューアルされることになったため、平和和学習コンテンツサイトの更新は中止した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		94%	82%	99%	
	進捗状況説明	記念行事の配信では、沖縄戦への理解が深まったとのアンケート回答が99%となり、目標を達成することができた。また、平和学習資料については、新型コロナウイルスの影響で上映会が開催できなかったため、アンケート集計は行っていない。平和学習資料は今後、貸出を行い、活用を図るなかで、検証を行っていきたい。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄戦の次世代への継承を推進するためには、沖縄戦について考える機会の創出を図り、様々な世代へのアプローチを継続して行う必要がある。 ・令和3年度はオンライン配信としたため、平日でありながら、働き世代である30～50代の市民層や県外からの閲覧者が増え、様々な世代へのアプローチという観点から目標を達成することができた。 ・閲覧者側のインターネット環境によっては、動画が固まったりしたとのことであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧者側のインターネット環境による不具合については、受託事業者と調整を行い、閲覧者の閲覧環境について利便性向上を図る必要がある。 ・イベント開催のみならず、学びたいときに手軽に学べる環境づくりが必要であり、平和学習コンテンツサイトの充実を図る必要がある。 	
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄戦について考える機会の創出を図るために、企画提案型プロポーザル方式により民間事業者を選定、委託を行い、様々な世代へアプローチできるようなイベントを継続して開催する。 ・平和学習コンテンツサイトの充実を図るため、平和学習資料を作成する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	9,964	9,957	7,965	1,992	7
<pre> graph LR A[沖縄市 9,957千円] --> B[報酬 2,051千円] A --> C[委託料 7,906千円] B --> D[会計年度任用職員 2,051千円] C --> E[株式会社 クランク 7,906千円] F[対象外経費 食糧費 7千円] </pre>					
					〔 平和推進事業に関する会計年度任用職員(1名) 〕
					〔 「2021沖縄市民平和の日記念行事」企画運営業務 〕
					〔 対象外経費 食糧費 7千円 〕
資金の流 点検 評価	評価	点検項目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○受託事業者は公募型プロポーザル方式選定に基づく随意契約としたため、妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模は、事業計画を踏まえた適切な積算内容となっている。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-①	沖縄こどもの国推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-ア	
	担当部署名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国への誘客に向け、各種ソフト施策を実施する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,992	51,220	50,442	18,150	14,432
		(b)予算現額	28,566	51,220	50,442	18,150	14,432
		(c)増減額(b-a)	20,574	0	0	0	0
		(d)繰越額	-	0		0	0
	A.計(b+d)		28,566	51,220	50,442	18,150	14,432
	B.執行済額		28,566	51,084	50,413	18,112	14,355
	うち交付金充当額		22,852	40,867	40,330	14,489	11,484
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.7%	99.9%	99.8%	99.5%
予算の状況の説明		R3当初で予算措置を行い、事業計画どおりに実施し、適正に予算を執行した。不用額は、入札差額による残額となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	マーケティング実施支援業務の実施 デジタルサイネージ活用動画制作等業務の実施	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
	沖縄こどもの国プロモーション業務の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
	沖縄こどもの国商品開発等実施支援の実施	目標	()	()	()	(実施)	
実績					実施		
達成状況説明	沖縄こどもの国の来園者満足度の更なる向上及び安定運営促進を目的に、飲食物販における課題整理や、実際に商品開発を行う際のノウハウの落とし込み(計画・試作品作成)を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	マーケティング実施支援業務の完了 デジタルサイネージ活用動画制作等業務の完了	目標	()	(実施・実施)	()	()	()
		実績		実施・実施			
	沖縄こどもの国プロモーション業務の完了	目標	()	()	(実施)	()	()
		実績			実施		
	沖縄こどもの国商品開発等実施支援業務の完了	目標	()	()	()	(実施)	()
		実績				実施	
【参考指標】 目標入園者数	目標	()	(60万人)	(60万人)	(65万人)	(70万人)	
	実績		53万人	33万人	36万人		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発等実施支援業務を完了し、目標を達成した。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、臨時休園(R3.6月初旬～9月末)を行ったことや、入域観光客数が減少したこと等から目標入園者数を下回る結果となった。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・沖縄こどもの国商品開発等実施支援業務終了後には、試作品の商品化に向けて、具体的な検討が行われており、今後の商品開発の足掛かりとなった。</p>	<p>・今後もコロナ禍での運営が予想されるため、それに合わせた戦略や環境整備を併せて検討し、沖縄こどもの国への誘客に繋がる施策の更なる充実を図る必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・令和4年度以降は、新たな取り組みである夜の開園に向け、施設の最大限活用を目的に、ナイトコンテンツ実施計画等について検討したうえで、沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画を作成し、これに基づいた各種ソフト事業を展開していく。</p>		

資金の流れ													
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">14,355</td> <td style="text-align: center;">14,355</td> <td style="text-align: center;">11,484</td> <td style="text-align: center;">2,871</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,355	14,355	11,484	2,871	0	<pre> graph LR A[沖縄市 14,355千円] --> B[委託料 14,355千円] B --> C[沖縄こどもの国 業務推進共同事業体 14,355千円] subgraph D [商品開発等実施支援業務委託] C end </pre>		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
14,355	14,355	11,484	2,871	0									
資金の流 れ、点 検、 費目・	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>点検項目</th> <th>評価に関する説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>支出先の選定方法は妥当か。</td> <td rowspan="4">○委託事業者は提案公募型プロポーザルにより選定、委託しており、妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。 ○費目・用途については、業務委託完了後に検査を実施しており、目的に即していることを確認した。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td>受益者との負担関係は妥当であるか。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	点検項目	評価に関する説明	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は提案公募型プロポーザルにより選定、委託しており、妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。 ○費目・用途については、業務委託完了後に検査を実施しており、目的に即していることを確認した。	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。
評価	点検項目	評価に関する説明											
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は提案公募型プロポーザルにより選定、委託しており、妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。 ○費目・用途については、業務委託完了後に検査を実施しており、目的に即していることを確認した。											
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		沖縄市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-①	商店街等活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-イ	
担当部署名	経済文化部 商工振興課	事業実施(予定)年度	令和元~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を支える中小企業等の振興 Ⅲ-1-(7)	
事業内容	令和元年度に実施した調査等の課題を踏まえ、銀天街地域に交流拠点を作り、誘客効果の高いイベントを企画実施することにより、地域の連帯意識や魅力を高めるとともに、営業店舗数の増加やリーダーの育成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	R1年度	R2年度	R3年度			
		8,000	15,873	12,152			
		8,000	16,955	12,152			
		0	1,082	0	0	0	
		8,000	16,955	12,152	0	0	
	B. 執行済額	7,964	9,347	11,704			
	うち交付金充当額	6,371	7,477	9,363			
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	55.1%	96.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明	執行残額は概算契約の精算によるものであり、当初計画していた事業内容としては適切に実施している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度		
	・商店街組織への調査	目標	(9 団体以上)	()	()	()	
		実績	46 団体				
	イベント実施件数(2件)	目標	()	(2件)	(2件)	()	
実績			15件	42件			
達成状況説明	当初の目標は集合型イベント2件であったが、コロナ禍の対策として少人数で行う分散型で開催したことから、目標を大幅に達成した。集合型イベントについても感染対策を行い開催することができた。(集合型イベント:2件、分散型:40件)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	調査報告書の作成完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	営業店舗増加数(1件)	目標	()	()	(1件)	(1件)	()
		実績			0件	0件	
【参考指標】 ①旧銀天街地区:47店舗 ②その他(全体):2,244店舗	目標	()	()	()	(①47店舗 ②2,244店舗)	()	
実績					(①43店舗 ②2,044店舗)		
進捗状況説明	新規出店希望者からの問合せはあったものの出店に至らず、営業店舗数はR2年度の45店舗からR3年度は43店舗と増加とはならなかった。今後も引き続き、新規出店の支援と既存店舗の魅力向上のための支援に努めるとともに、賃貸可能な物件を増やすよう取り組み、営業店舗の増加を図っていく。 また、全体の営業店舗数については2,044店舗となっており、目標達成に至らなかった。要因として、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の縮小が懸念していると想定されることから、今後、経済状況等を注視しつつ必要な対策を行っていく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>目標達成に至らなかった要因として、新規出店希望者が出店できる賃貸可能な物件が当該エリアに少ないため、新規出店数が伸びない状況である。 また、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の縮小が懸念され、既存店舗の経営が苦しい状況が想定される。</p>	<p>新規出店者が出店できるよう、賃貸可能物件を増やしていくための取り組みとして、家主や地主の地域づくりへの意識啓発を行っていく取組みが必要がある。 また、既存店舗の事業継続のための支援が必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、商業活性化に対する意識啓発のため、地主・家主など地権者を対象とした勉強会等を新たに実施するほか、イベント等の賑わい創出することで新規出店希望者を呼び込むことを引き続き行っていく。 また、既存店舗へ活用可能な補助金等の情報提供や経営に関する勉強会等を開催し、事業継続における支援を図るなど、既存店舗の減少の抑制や、新規出店を促進することで、営業店舗数の増加に繋げる。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,704	11,704	9,363	2,341	0
<pre> graph LR A[沖縄市 11,704千円] --> B[委託料 11,704千円] B --> C[Office IKARI 11,704千円] subgraph D [] C end style D stroke-width:0px </pre>				

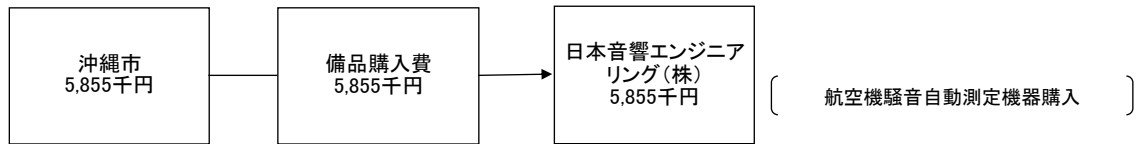
資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は経験、知識を特に必要とする特定の者でなければ履行できない随意契約により実績、知識等を勘案した上で選定しており、該当であったと考えている。 ○予算規模については、比較見積りや設計金額を踏まえ適正だと判断できる。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要性について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	沖縄市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	14-①	航空機騒音測定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-ア		
担当部署名	企画部 基地政策課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題への対応 Ⅲ-12-(1)		
事業内容	嘉手納飛行場に隣接する本市における騒音実態を把握するため、人口密集地である宮里局の騒音測定器について、上空を通過した航空機の具体的な高度を把握できるよう機能強化を図ることによって、航空機騒音被害における基礎資料とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,856				
		(b) 予算現額	5,856				
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				0
	A. 計(b+d)		5,856	0	0	0	0
	B. 執行済額		5,855				
	うち交付金充当額		4,684				
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		計画どおりに執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度				
	騒音測定器の整備完了(1局)	目標	(整備実施)	()	()	()	
		実績	整備完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	備品購入を計画どおりに達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度		目標値(年度)	
	市街地上空飛行件数の減少(年間6,259件以下)	目標	()	(6,259件以下)	()	()	()
		実績		6,715件			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	成果目標として、騒音発生回数を年間6,259件(※)以下と設定したものの、外来機の飛来が想定より増加したため、目標を達成することができなかった。 (※)直近5年間の騒音発生回数の平均以下					

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	嘉手納基地へ外来機(FA18、F35A、F35B)の飛来が相次いだことにより、騒音発生回数が増加したと思われる。	現状を把握するために、今後も航空機騒音測定器を活用し、被害状況の把握を行う。
	今後の取り組み方針	
航空機騒音測定器の基礎データを用いて、関連機関と密に連携し、航空機による騒音被害を減少させるための取組を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,855	5,855	4,684	1,171	0



資金の用途の流 点検・費目 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、地方自治法施行令167条の2第1項第2号の規定に基づく随意契約とした。 ○予算規模は、執行率が100%となっており適正な規模となっている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	